

# 西新宿五丁目北地区防災街区整備事業について

## ■ 目 次

1. 地域の現況について	1
2. まちづくりの経緯	2
3. 地区の現況	3
4. 上位計画	4
5. まちづくりの基本テーマ	5
6. 景観まちづくり方針	6
6-1. 方針1：周辺環境と調和した配置計画	7
6-2. 方針2：活気と賑わいのある快適なまちの再生	8
6-3. 方針3：水とみどりに調和した潤いのあるまちの創出	9
6-4. 方針4：周辺地域に配慮したボリューム計画・周辺環境と調和した外装計画	11
7. 計画案図面資料（配置図／平面図／断面図／立面図）	16

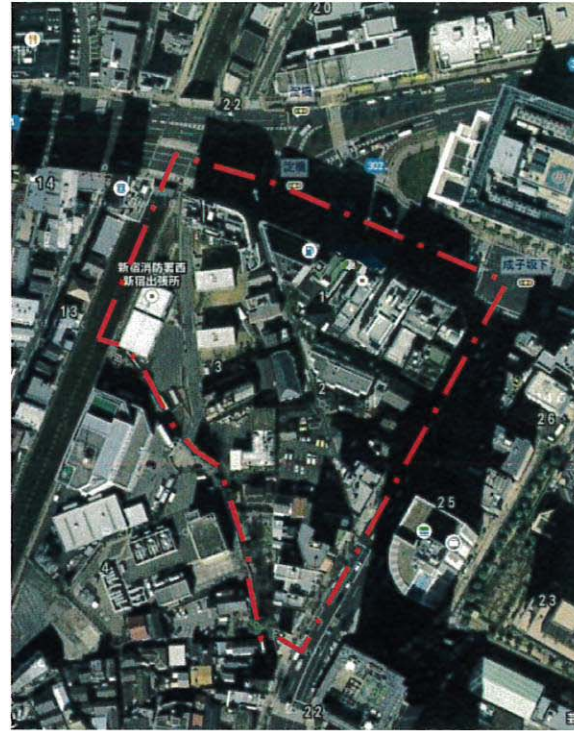
# 1. 地域の現況について

西新宿五丁目は、以下のような指定や課題のある地区です。

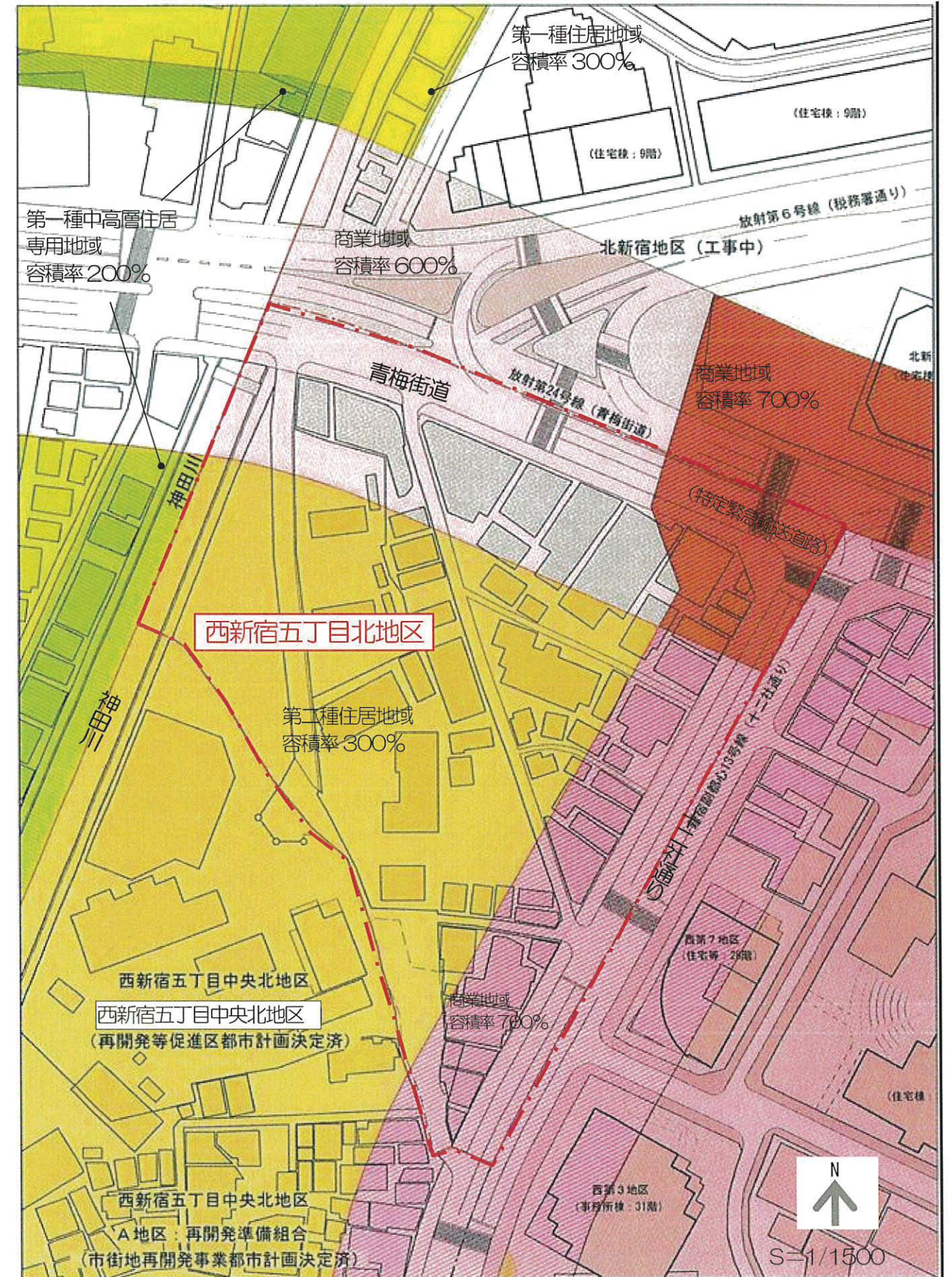
- 平成14年7月に都市再生緊急整備地域（都市開発事業などを通じて緊急かつ重点的に市街地の整備を推進すべき地域）に指定されている。
- 東京都の地震に関する地域危険度測定調査では、第7回調査（平成25年9月公表）で火災危険度及び災害時活動困難度を考慮した火災危険度でランク4（5段階でランク5が最も危険）の指定を受けている。

よって、区は、当地区において不燃化特区や市街地再開発事業等の支援を行い、不燃化及び市街地の整備を推進しています。

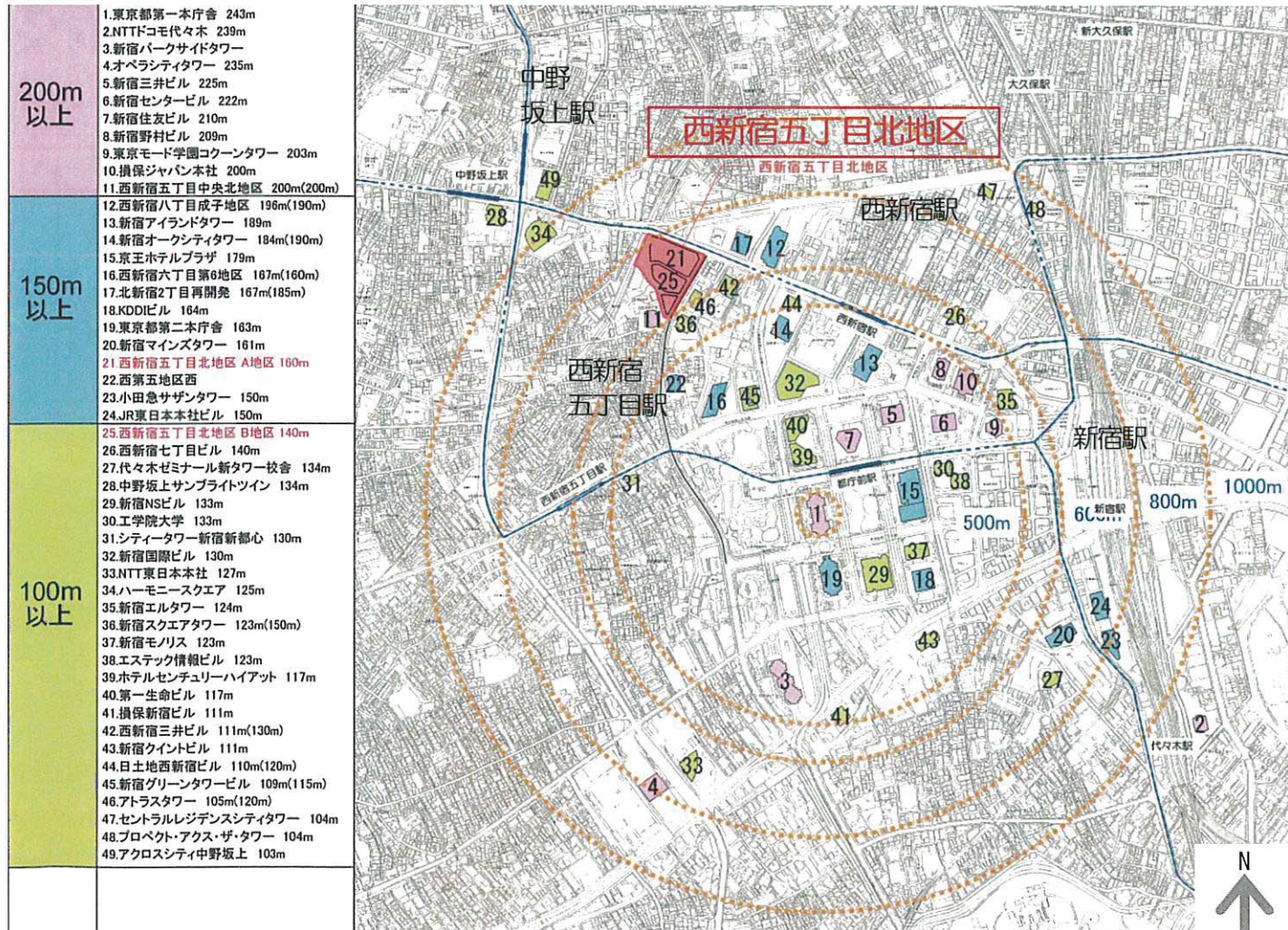
西新宿五丁目北地区（2.5ha）は新宿駅の北西約1.2kmの距離にあり、東京メトロ丸の内線西新宿駅及び中野坂上駅、都営大江戸線西新宿五丁目駅から徒歩6分、西新宿の高層ビル群の端に位置しています。



図一区域図（区域面積 約2.5ha）



図一位置図



## 2. 街づくりの経緯

### 現況建物用途

区分	棟数	延べ面積 (㎡)	割合 (%)
専用住宅	13	1,705	4.8
共同住宅	12	6,029	16.9
併用住宅	20	18,712	52.3
店舗・事務所	7	8,590	24.0
公益建築	2	713	2.0
計	54	35,749	100.0

### 現況建物構造

区分	棟数	延べ面積 (㎡)	割合 (%)
木造	21	2,749	7.7
S造	9	2,334	6.5
RC造	14	8,491	23.8
SRC造	10	22,175	62.0
計	54	35,749	100.0

区分	人数 (人)
土地所有者	57
借地権者	6
計	63

### 街づくりの経緯

地元住民を中心に約10年間、熱心に街づくりの検討を進めてきました。早期に街づくりの実現を希望する権利者も多く積極的に活動を行っています。権利者の約8割が事業組合設立に同意しています。

平成 16年 7月 地元有志の活動を再開

平成 18年 7月 西新宿五丁目北地区街づくり研究会を設立する。

平成 19年 5月 西新宿五丁目北地区再開発準備組合を設立する。

平成 20年 2月 参加組合員予定者に住友不動産株を選定する。

平成 21年 5月 都市計画の準備組合案を承認する。

平成 25年 11月 基本計画案の建築計画案を承認する。

平成 26年 7月 本計画案をもって都市計画決定を目指すことを決議。

平成 26年 8月 計画案に関する近隣説明会を開催

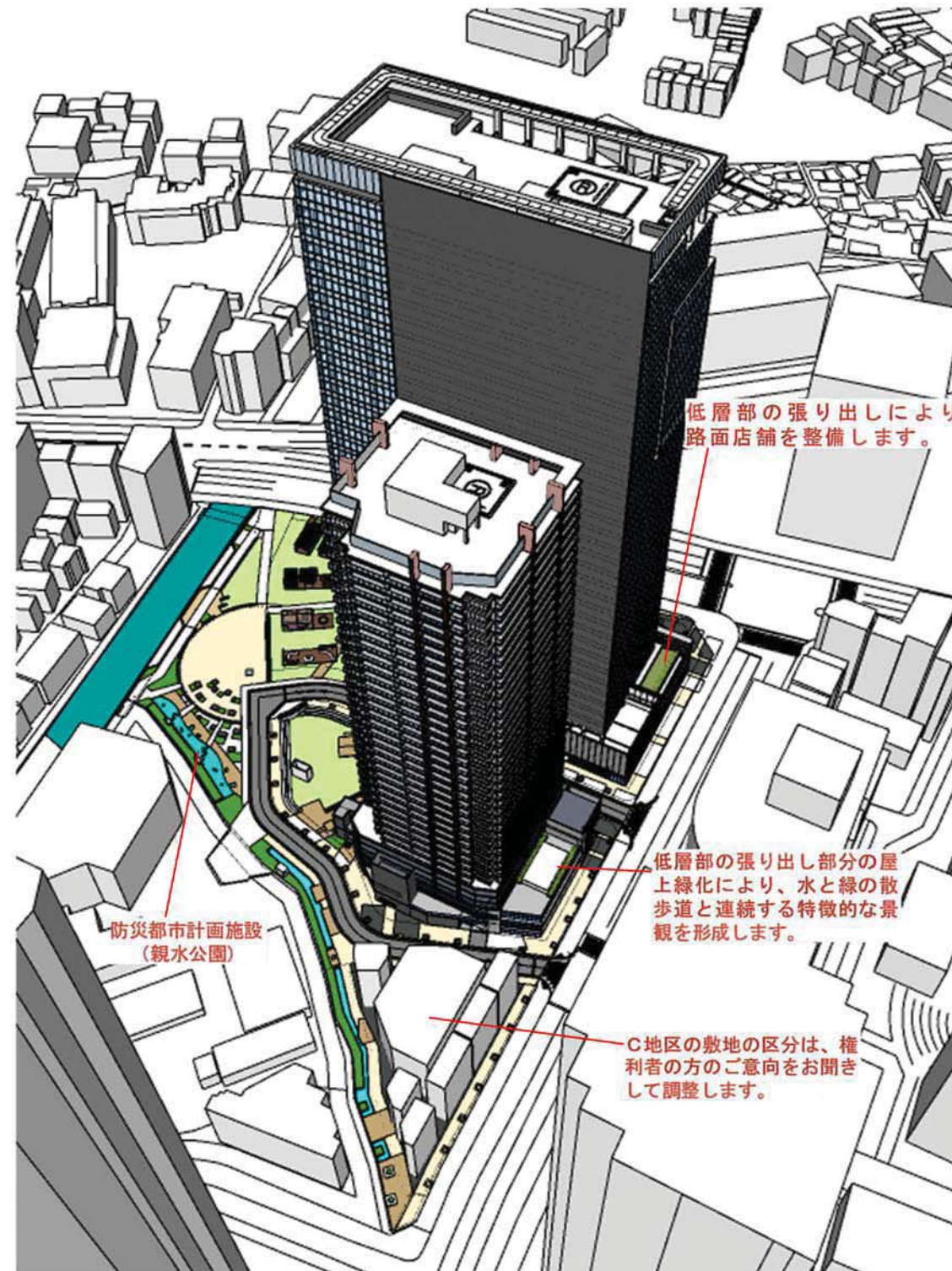
平成 27年 8月 都市計画決定告示

平成 28年 12月 事業組合設立認可

平成 30年 8月 事業計画変更認可

平成 31年 3月 権利変換計画認可

平成 34年 建物竣工 (予定)

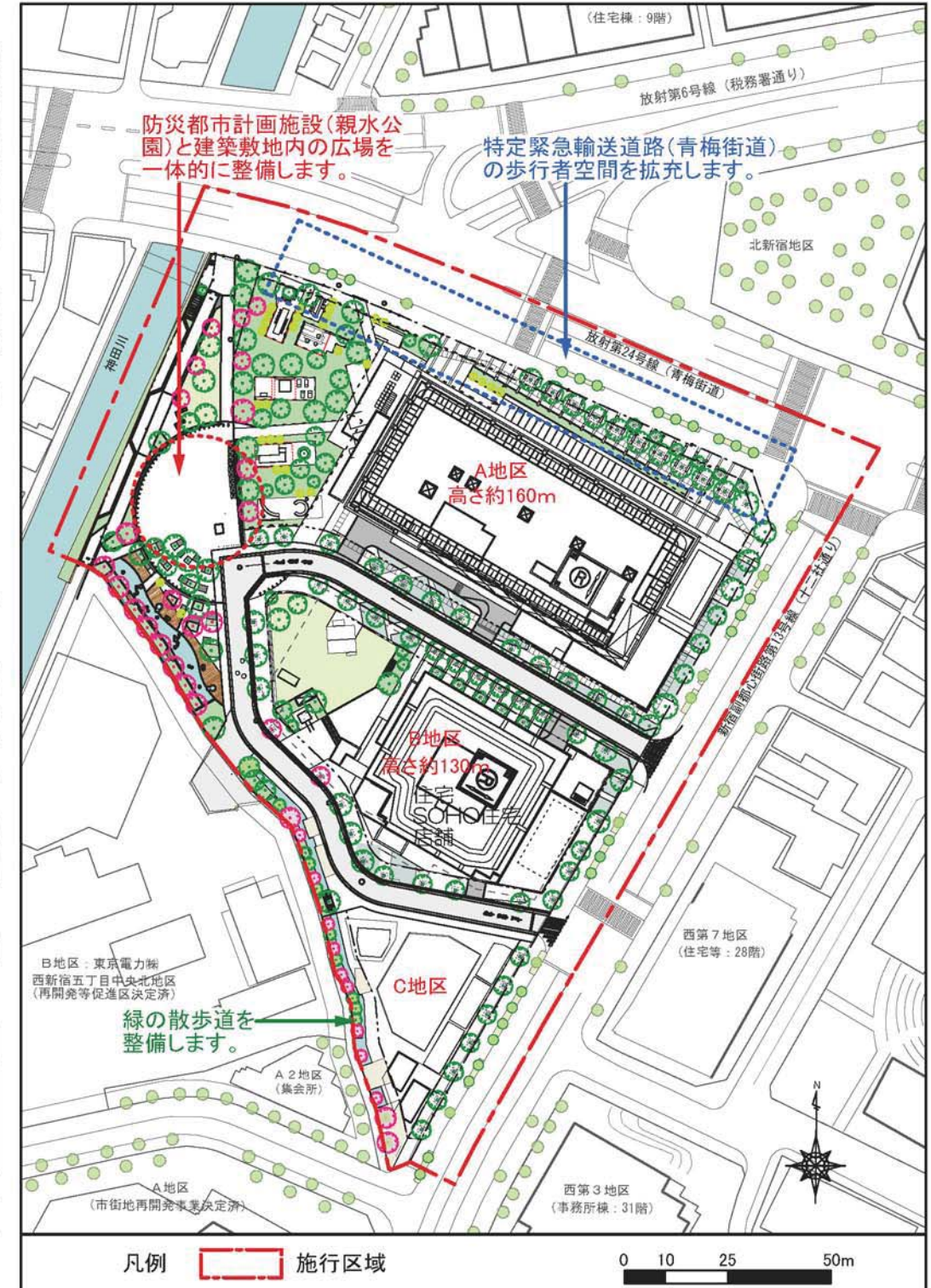


※ 現在検討中のものであり今後変更の可能性があります。

### 計画概要

敷地面積	約 12,240 ㎡
延床面積	約 128,000 ㎡

区分	計画戸数	住宅面積	店舗面積	事務所面積
A地区	約 94 戸	約 44,400 ㎡	約 1,800 ㎡	約 40,400 ㎡
B地区	約 404 戸	約 40,250 ㎡	約 1,420 ㎡	約 0 ㎡
C地区	約 6 戸	約 650 ㎡	約 500 ㎡	約 2,200 ㎡
計	約 500 戸	約 85,300 ㎡	約 3,720 ㎡	約 42,600 ㎡



### 3. 地区の現況

図一 建物構造別現況



① 十二社通り沿い建物 (店舗、事務所、賃貸住宅)  
 ・青梅街道と十二社通り沿道は老朽化した旧耐震の耐火建築物が多い。



④ 地区西部の通路  
 ・地区南側の玉川上水から神田川に通じる水路 (助水堀) があつたが蓋掛けされていて水の存在が感じられない。



② 地区の狭隘道路  
 ・地区内部の道路は行き止まり道路や狭隘道路である。



⑤ 神田川沿い  
 ・神田川沿いには通路機能はあるものの、樹木や緑地帯は連続しておらず、舗装も不十分となっている。



③ 地区の狭隘道路  
 ・地区内部は低層の老朽木造建物が多い。



⑥ 十二社通り沿い建物  
 ・かつては商業が盛んだったが、周辺で再開発が進み、店舗が減少して活気が失われている。  
 ・日々の買い物も不便な状況である。

# 4. 上位計画

## 新宿区総合計画

東京都、周辺区とも整合を図りながら、地域の個性に光をあてた景観形成を推進し、潤いのある豊かな生活環境を創出、まちの活性化を図り、区民・来訪者にとっても魅力的なまちの景観の形成を進めていきます。

### ①地域の個性を活かした景観誘導

#### ア. 「まちの記憶」を活かした景観形成

- 人々の営みの歴史や文化など地域に刻まれた「まちの記憶」を活かした景観形成を誘導していきます。

#### イ. 変化に富んだ地形を活かした景観形成

- 神田川などの水辺、新宿御苑などの貴重なみどりを、区の財産として景観形成を誘導していきます。

#### ウ. 水とみどりを活かした景観形成

- 建築物の更新等によって失われがちなみどりの保全を促進していきます。
- 水辺やみどりを創出する建築計画を誘導していきます。
- 大規模施設などのみどりを活用し、都市に潤いを与え品格を高めるまちなみ景観の形成を図ります。

#### エ. 眺望景観の保全・創出

- 新宿駅西口の超高層ビルが建つ区域において、適切な景観を誘導していきます。
- みどり豊かな街路樹の整備や道路の無電柱化により、良好な眺望景観を創出していきます。

#### ②賑わいと潤いのある景観形成の誘導

- 神田川などの水辺の景観を活かした親水空間の創出、まちなみや遊歩道などの整備を進めていきます。

#### ③区民との連携による景観まちづくりの推進

- 区民との協働 地区計画※等のまちづくり制度を活用し、地域の個性的な景観の保全・創出を図ります。

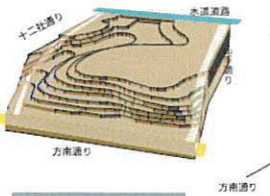
## 新宿区景観形成ガイドライン

### 10-7 淀橋・十二社エリア

江戸時代には現在の十二社通りと並んで大小二つの池があり、周辺には多数の茶屋が並ぶ景勝地でした。また、玉川上水と神田上水を結ぶ助水堀や高低差が9mあったと言われる熊野の滝もありました。明治時代以降は淀橋浄水場の建設に伴い、池や助水堀は次第に埋め立てられてしまいましたが、その水路跡は現在は遊歩道として存在しています。

#### 景観特性

- まちなみの大幅な変化が予想される場所では、超高層ビル群などと調和を図り、まとまったみどりを創出する。
- 超高層ビル群や周辺市街地との調和を図る
- 新宿中央公園と神田川をつなぐまとまったみどりを創出する



十二社池の跡・西新宿4丁目には、かつての十二社池の跡である窪地があります。窪地では、緩やかな変化のある地形を眺められる場所があり、低層と高層の建築物が折り重なって見えます。



南北に連なるみどりの道・公園などの公共施設や住宅地のみどりの連なる南北の道があります。

N 0 50 100 200m S = 1 : 8,000

#### 1. 空の広がりや神田川の流れる川空間を感じる川空間



神田川は、コンクリート三面張りとなっているものの、都市において一息つける貴重な安らぎ空間です。

#### 2. 生活感を感じる身近なみどりや商店街



住宅地も商店街もあまり規模が大きくなく、身近なみどりがあふれています。かつて、神田上水と玉川上水をつないだ助水堀の跡は暗渠となり、よどばし児童遊園として残っています。

#### 3. 幹線道路の内側



幹線道路に囲まれた内側からは、幹線道路沿いの高層建築物の裏側が見えてしまいます。

#### 景観形成の目標

### 水に関連する歴史や地形をいかしたみどりあふれるまちなみへ

神田川だけでなく、かつてあった十二社池や助水堀など水や地形をいかし、みどりあふれるまちなみをつくる。

#### 景観形成の方針

#### 1. 空の広がりや河川の流れる川空間を感じる川空間をつくる

##### 景観形成の考え方

本エリアの景観形成の軸となる神田川において、水とみどりに調和した潤いあふれる川空間をつくる。

##### 具体的な方策

- 色彩は水やみどりと調和したものとし、特に、彩度の高いものは避ける
- 橋や対岸からの眺めに配慮し、壁面の分節化を図り、長大な壁とならないようにする
- 直接河川に接する場所では、設備機器等は見えないよう植栽等で修景する
- 河川側は、空の広さが感じられるよう十分な空地をとり、積極的に緑化を行う
- 橋や遊歩道の整備に際しては、色彩や素材、植栽などに十分配慮し、可能な限り親水空間をつくるなど良好な河川景観を積極的に創出するよう努める



気持ちの良い木陰

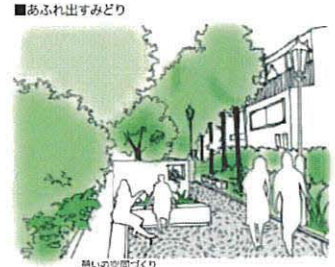
#### 2. みどりあふれるまちなみをつくる

##### 景観形成の考え方

道路にあふれ出す住宅の敷地ごとの小さなみどりを大事にしつつ、神田川沿いのみどり豊かな景観を、新宿中央公園のまとまったみどりまでつなげる。

##### 具体的な方策

- 大規模の計画では、まとまった緑化を行う
- 中・小規模の計画では、道路沿いの緑化を積極的に進行
- 緩やかな変化のある地形の魅力を損なわないよう、大規模な地形の改変は避ける



思いの空間づくり

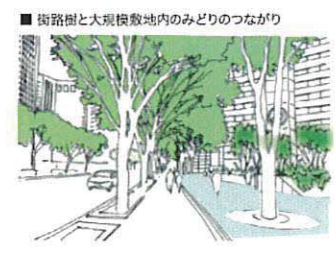
#### 3. 幹線道路沿道の賑わいと快適な歩行者空間をつくる

##### 景観形成の考え方

広域幹線道路(山手通り・青梅街道)や地区幹線道路(十二社通り・水道道路・方南通り)の沿道は、賑わいと街路樹が続く快適な歩行者空間をつくる。

##### 具体的な方策

- 壁面の位置を揃え、周囲と調和を図る
- 低層部の賑わいを感じられるよう、開放的な意匠とする
- 夜間景観にも配慮し、シャッターは透過性の高いものとする
- 夜間景観に配慮した照明計画とする
- 交通量の多い幹線道路の悪影響を緩和するため、街路樹を整える
- 水道道路沿道では、日影と圧迫感の軽減に配慮し、周辺の生活環境と調和した落ち着きと賑わいのある景観とする



街路樹と大規模敷地内のみどりのつながり

## 新宿区景観まちづくり計画

### 一般地域の景観形成基準

■建築物の建築等		
届出対象行為	建築物の新築、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更	
届出対象規模	建築物の高さ>10m又は延べ面積>300㎡	
景観形成基準	形態・意匠	○外壁の色彩や素材は、隣接する建築物や周辺景観との調和を図る。 ○形態意匠は、建築物単体のバランスだけでなく、隣接する建築物や周辺景観との調和を図る。
	その他	○敷地内に歴史的な建造物や残すべき自然などがある場合は、積極的にこれらをかさす。 ○隣接する建築物の壁面等の位置を考慮した配置とする。 ○附帯する設備等は、建築物と一体的に計画するか、歩行者や水平方向からの見え方に配慮し、緑化や目隠しなどによる修景を行う。 ○附帯する構造物や施設等は、建築物との調和を図るとともに、歩行者からの見え方に配慮した修景をする。 ○外構は、敷地内のデザインだけでなく、隣接する敷地や道路など、周辺景観との調和を図る。 ○敷地内はできる限り緑化を行う。 ○夜間の景観に配慮し、周辺の景観に応じた照明を行う。

ただし、建築物の高さ>60m又は延べ面積>30,000㎡の場合は、下記の景観形成基準を加えるものとする。

景観形成基準	形態意匠	○色彩は、別表3の色彩基準に適合するとともに、隣接する建築物や周辺景観との調和を図る。
	その他	○隣接する敷地や公共施設と一体となったオープンスペースを新たに創出するなど、周辺景観に配慮した配置とする。 ○壁面の位置の連続性や、適切な隣棟間隔の確保など、隣接する建築物や周辺景観との調和を図る。 ○周辺の主要な眺望点(道路、河川、公園など)からの見え方に配慮するとともに、周辺の建築物のスカイラインとの調和を図る。 ○緑化にあたっては、生態系にも配慮した樹種の選定を行うとともに、積極的に屋上や壁面の緑化を行う。

### 水とみどりの神田川・妙正寺川地区の景観形成基準

■建築物の新築等		
届出対象行為	建築物の新築、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更	
届出対象規模	建築物の高さ>10m又は延べ面積>300㎡	
景観形成基準	形態意匠	○外壁の色彩や素材は、隣接する建築物や周辺景観との調和を図る。 ○形態意匠は、建築物単体のバランスだけでなく、隣接する建築物や河川景観との調和を図る。
	その他	○敷地内に歴史的な建造物や残すべき自然などがある場合は、積極的にこれらをかさす。 ○隣接する建築物の壁面等の位置を考慮した配置とする。 ○附帯する設備等は、建築物と一体的に計画するか、歩行者や水平方向からの見え方に配慮し、緑化や目隠しなどによる修景を行う。 ○附帯する構造物や施設等は、建築物との調和を図るとともに、歩行者からの見え方に配慮した修景をする。 ○外構は、敷地内のデザインだけでなく、河川景観との調和を図る。 ○敷地内はできる限り緑化を行う。 ○夜間の景観を落着きあるものにするため、過度な照明を河川に向けない。

ただし、建築物の高さ>15m又は延べ面積>1,000㎡の場合は、下記の景観形成基準を加えるものとする。

景観形成基準	形態意匠	○色彩は、別表1の色彩基準に適合するとともに、隣接する建築物や周辺の景観との調和を図る。
	その他	○隣接する敷地や公共施設と一体となったオープンスペースを神田川・妙正寺川沿いに新たに創出するなど、河川景観に配慮した配置とする。 ○壁面の位置の連続性や、適切な隣棟間隔の確保など、隣接する建築物や周辺景観との調和を図る。 ○神田川・妙正寺川に対しても正面性をもたせ、河川景観に配慮した外構や配置とする。 ○周辺の建築物のスカイラインとの調和を図る。 ○遊歩道や橋からの見え方に配慮する。 ○神田川・妙正寺川沿いに、長大な壁面や設備等が露出することを避けるなど、河川景観との調和を図る。 ○緑化にあたっては、生態系にも配慮した樹種の選定を行うとともに、積極的に屋上や壁面の緑化を行う。 ○河川沿いの垣・さくは生垣とする。

## 5. まちづくりの基本テーマ

# 「つどい にぎわう せせらぎ のある街」

### 「つどい」 都市居住、昼間人口の確保

- 敷地の高度利用、高層化により、500戸の共同住宅、2,000人が働く事務所を整備し、都市居住、昼間人口の確保を図ります。
- 散歩道・歩道状空を整備します。
- 周辺の広場につながる歩行者動線を形成します。  
地元や周辺の住民が多目的に利用できる広場を設けます。
- 親水公園と広場を一体化することにより防災機能の向上を図ります。



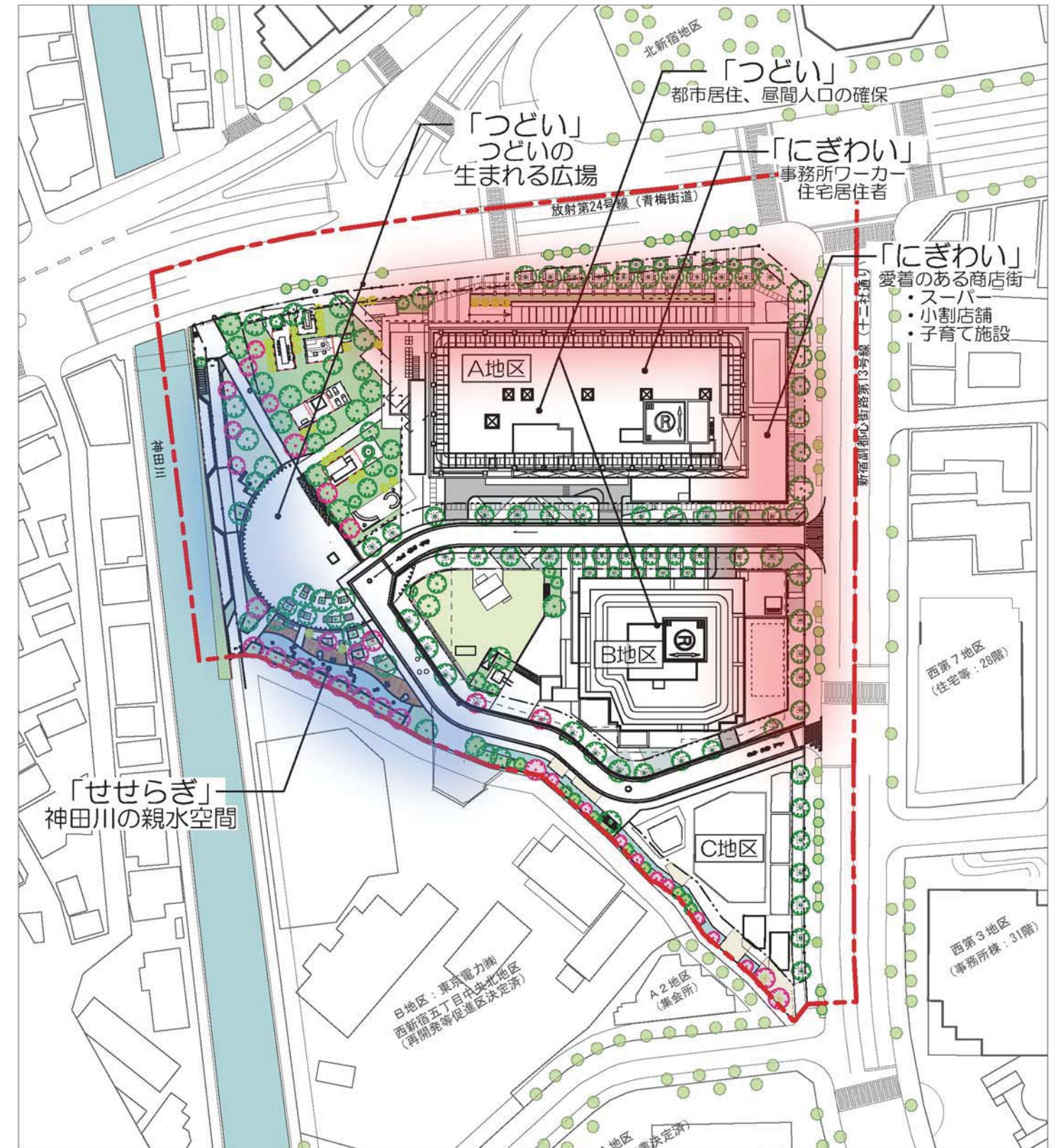
### 「にぎわい」 連続性のある路面店舗

- 十二社通りに連続性のある路面店舗を形成します。
- 歩行者空間と一体的な回遊性の高い商業空間を形成します。
- 店舗のにぎわいが歩行者空間へとにじみ出すようにします。
- 買い物客が憩える適度な大きさのポケットスペースを設けます。



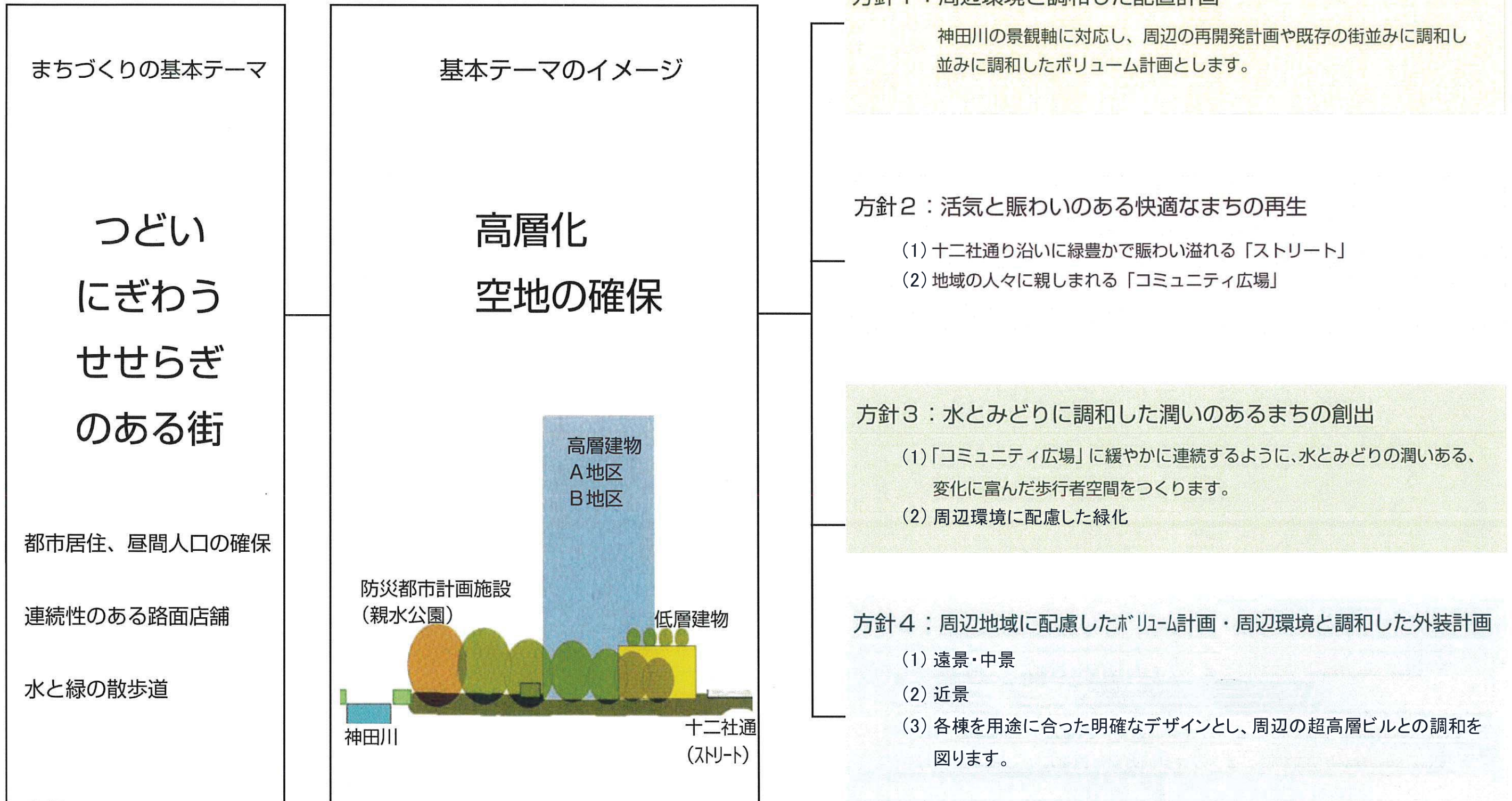
### 「せせらぎ」 水と緑の散歩道

- 中央公園から神田川までの助水掘を水景施設で再生します。
- 川沿いにも新しく水景を設けて神田川と公園の一体化を図ります。
- 樹木が風にそよぎ、水の流れる音が心地良い空間形成を図ります。
- 季節ごとの景観の移り変わりが楽しめるよう、緩やかに通路線形を変化させます。



## 6. 景観まちづくり方針

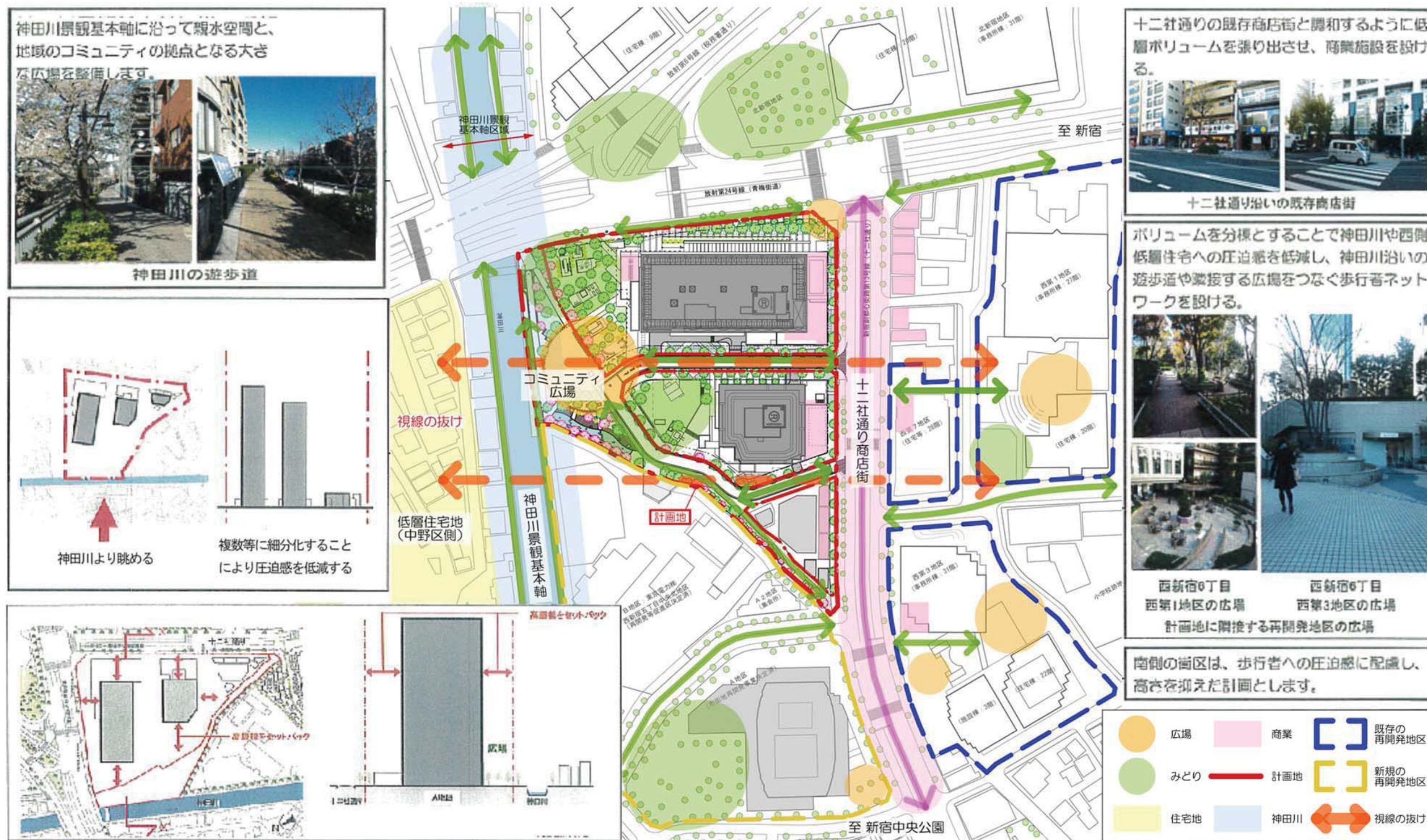
### まちづくりの基本テーマと景観まちづくり方針



## 6-1. 方針1：周辺環境と調和した配置計画

計画地周辺の環境に配慮し、周辺の再開発計画や既存の街並みに調和したボリューム計画とします。

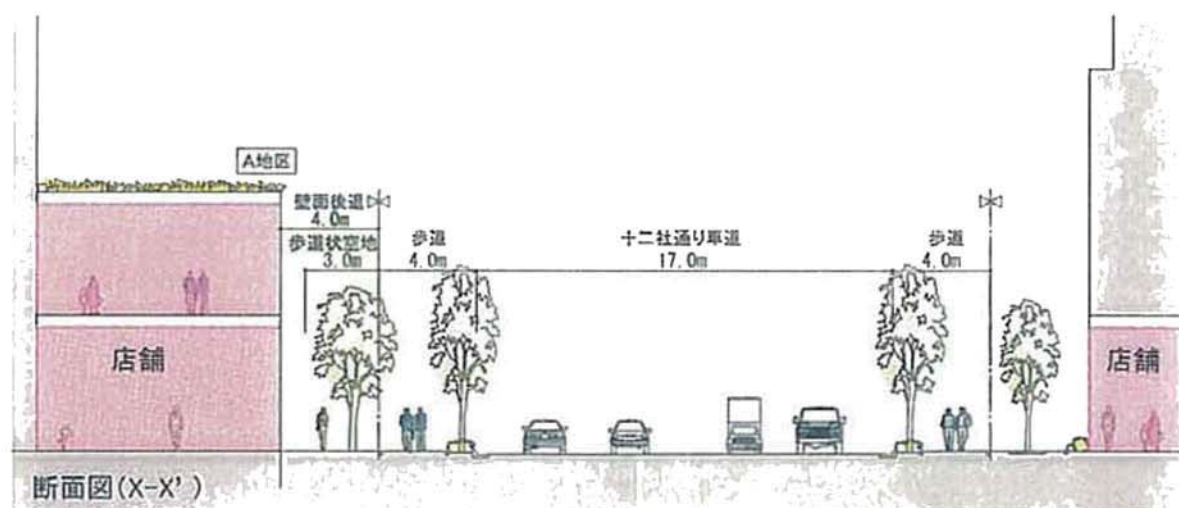
本計画では、神田川沿いの緑地や低層市街地からの圧迫感に配慮し、ボリュームをスリムな複数棟とします。西側神田川沿いには、十分に引きを取って神田川景観基本軸に沿って親水空間とコミュニティ広場を整備し東側十二社通り沿いには既存の商店街と呼応するように低層ボリュームを張り出させ商業施設を配置します。ボリュームを細分化して隙間を設けることで神田川沿いの遊歩道や周辺の再開発地区の広場と連続し、歩行者ネットワークによる回遊性を高めます。



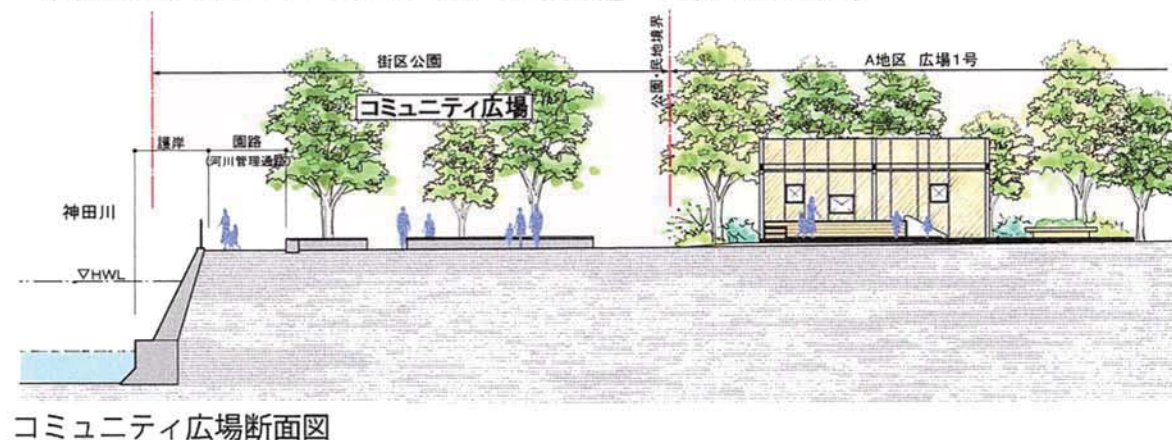


## 6-2. 方針2：活気と賑わいのある快適なまちの再生

(1) 十二社通り沿いに緑豊かで賑わい溢れる「ストリート」をつくり、既存の街並みの商業施設との相乗効果を目指します。



(2) 神田川沿いに青梅街道の交差点に面して、地域の人々に親しまれる「コミュニティ広場」を作ります。



コミュニティ広場断面図



ストリートに賑わいがみえる商業施設

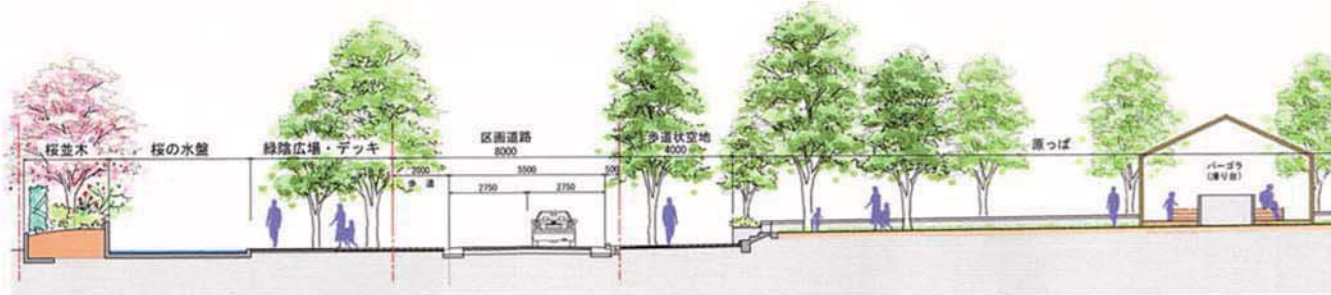


1階平面図

## 6-3. 方針3：水とみどりに調和した潤いのあるまちの創出

(1) 「コミュニティ広場」に緩やかに連続するように、水とみどりの潤いある、変化に富んだ歩行者空間をつくります。

本計画は、コミュニティ広場を起点に、計画地南東に位置する、緑豊かな中央公園に向けた緑の景観軸に沿って、「水と緑の散歩道」を形成します。



X-X' 断面図

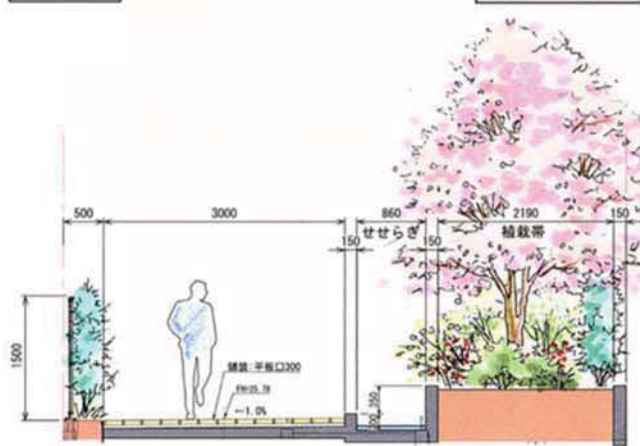


多様な生物を育む親水公園



神田川沿いの桜並木を  
実現します。 季節ごとに様々な彩り  
を見せる四季の庭

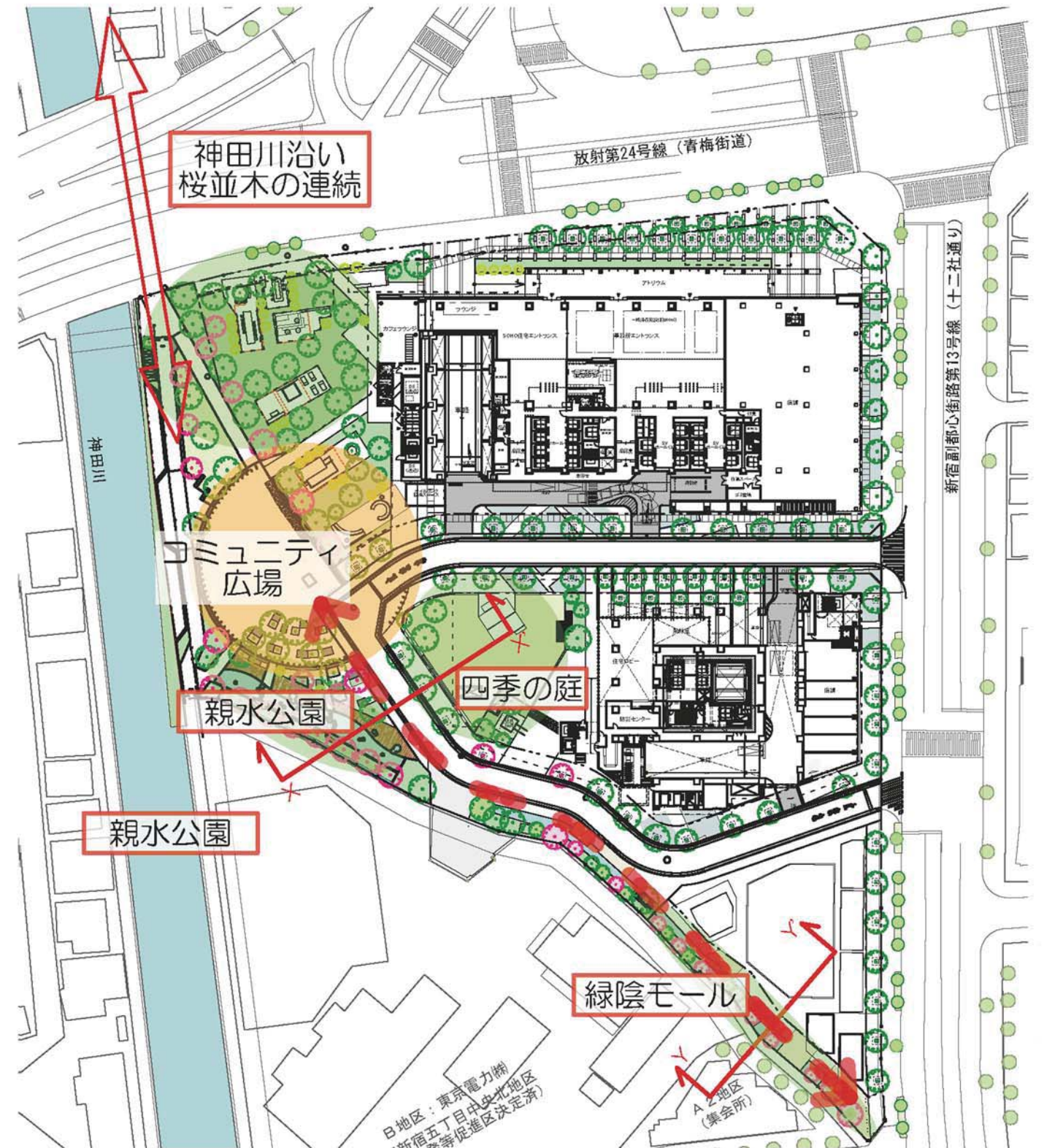
C 地区 中央北地区



Y-Y' 断面図 「緑陰モール」



「せせらぎ」の空間イメージ  
桜並木と神田川の記憶を継承する  
せせらぎを楽しめる小さなテラスが、  
人と自然をつないでくれます。



1階平面図

## (2) 周辺環境に配慮した緑化計画

### 青梅街道沿い

青梅街道と十二社通りの交差点は、賑わいを感じる建物と高木の調和を図ります。青梅街道沿いには大径木による列植を行い、エントランスの「構え」を形成すると同時に周囲の街路樹との樹種の調和を図ります。また住宅エントランス周りには、地面(植栽帯)に雑木を植え、場に潤いをもたらすと共に、広場への導入を演出します。

候補樹種：クスノキ、タブノキ、ヤマボウシ、サルスベリ、アラカシなど(約7~8m)



### 地域の広場

芝生の斜面や緑陰樹に囲まれた多目的に利用できる広場空間を形成します。

候補樹種：ケヤキ、カツラなど



### 親水拠点

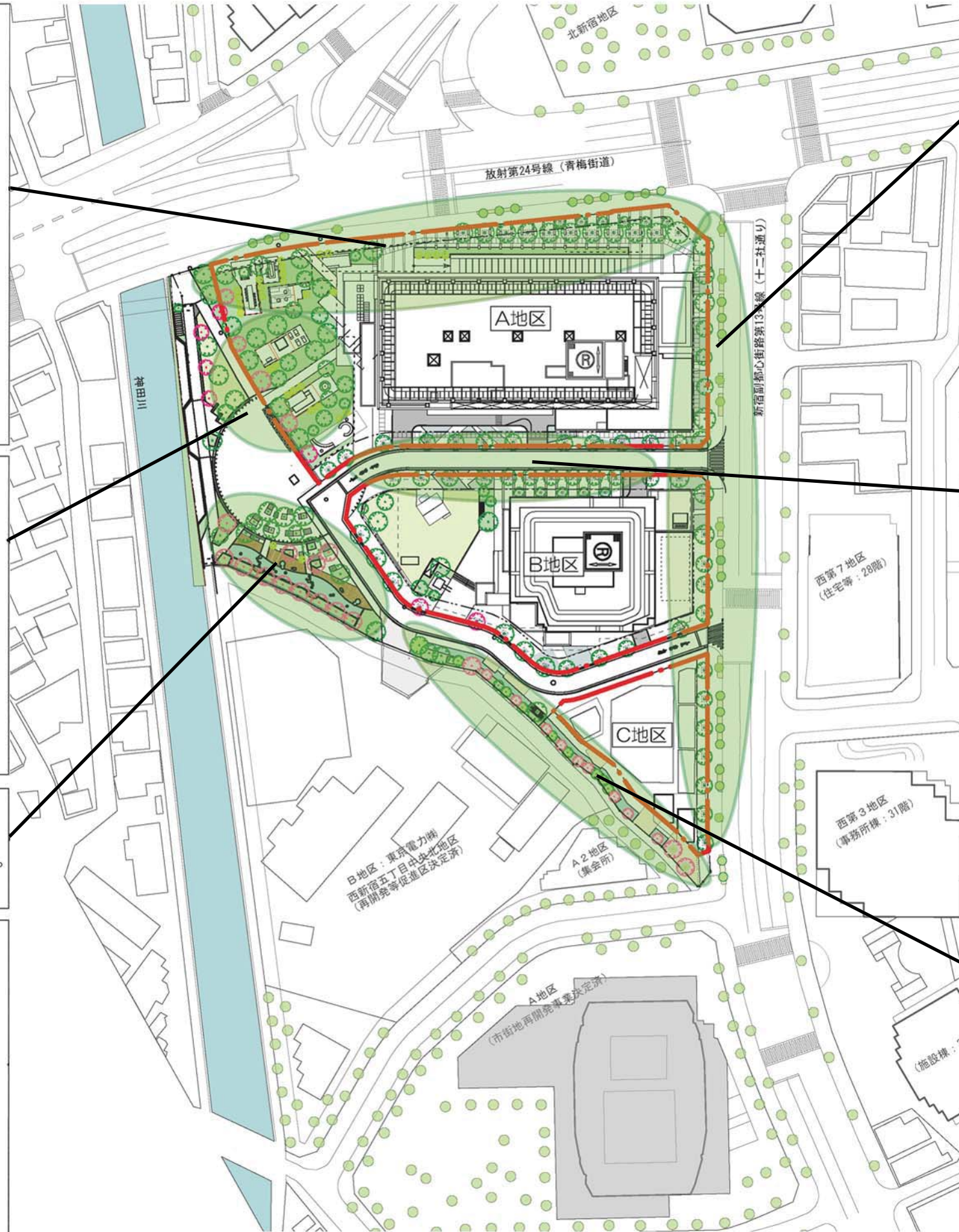
神田川との繋がりを感じる水盤と桜並木を設け、地区一の景勝地として多くの人々が集う空間とします。

候補樹種：ソメイヨシノ、オオシマザクラ、ベニシダレなど

### 四季の庭

住宅エントランスに面したこの箇所には、花木や紅葉木を多く取り入れ、季節ごとの庭の表情が楽しめるようにします。

候補樹種：コブシ、サルスベリ、モミジなど



### 十二社通り沿い

店舗前の空間には既存街路樹(トウカエデ)などの調和を図り、樹木を歩行の邪魔にならないよう列植し、十二社通りの街路樹との2列植栽にします。

候補樹種：シラカシ、クスノキなど(約7~8m)



### 地区間道路

区画道路沿いは、歩行者空間の確保を図りながら街路樹としての高木の植栽を行いません。個性的な樹木を街路樹として用いて、青梅街道や十二社通りとは一線を画した通りとします。

候補樹種：ウラジロガシ、モミジバフウなど



### 水と緑の散歩道

かつてあった神田川上水助水堀の記憶を継承するせせらぎのある散歩道です。せせらぎのそばには桜やモミジなど四季を感じられる木々が並びます。

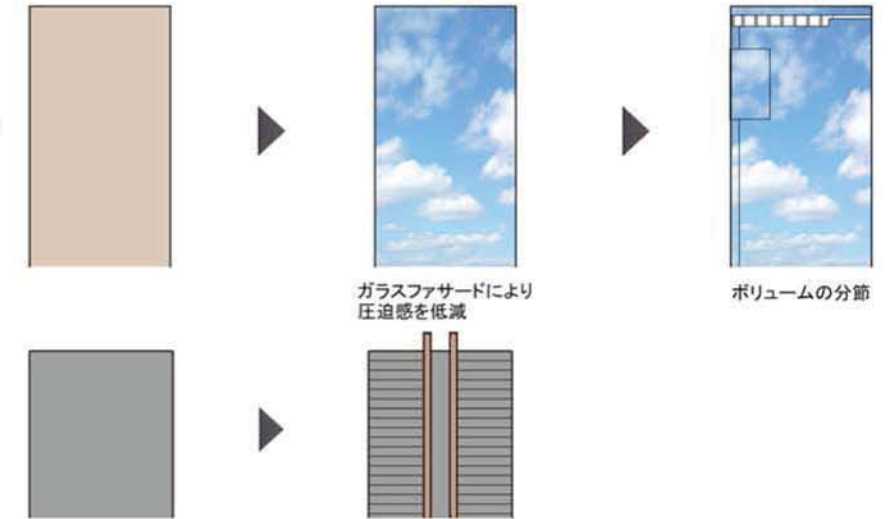
候補樹種：ソメイヨシノ、イロハモミジなど



## 6-4. 方針4：周辺地域に配慮したボリューム計画・周辺環境と調和した外装計画

### (1) 遠景、中景

- A棟 ・西新宿の超高層ビル群と調和するボリュームとします。  
 ・ガラスカーテンウォールで空と一体的に見せ圧迫感を緩和します。



- B棟 ・西新宿の超高層ビル群と調和するボリュームとします。  
 ・縦ラインを強調した壁面の分割により圧迫感を緩和します。



### (2) 近景

低層部は、ボリュームを張り出させ、基壇をつくることで、高層棟による圧迫感を低減し、十二社通りの既存商店街との調和を図ります。

また色彩はアースカラーを基調とし、ヒューマンスケールで構成



### (3) 各棟を用途に合った明確なデザインとし、周辺の超高層ビルとの調和を図ります。

- A棟：オフィス+SOHO住宅  
 オフィスらしいガラスカーテンウォールによるデザインで空と一体的に見せることにより圧迫感を緩和します。

- B棟：住宅  
 住宅らしいファサードに縦ラインを強調した壁面の分割で圧迫感を緩和します。

周辺のガラスファサードのビル



新宿セントラルパークシティ



新宿オークタワー



アクロスシティ中野坂上

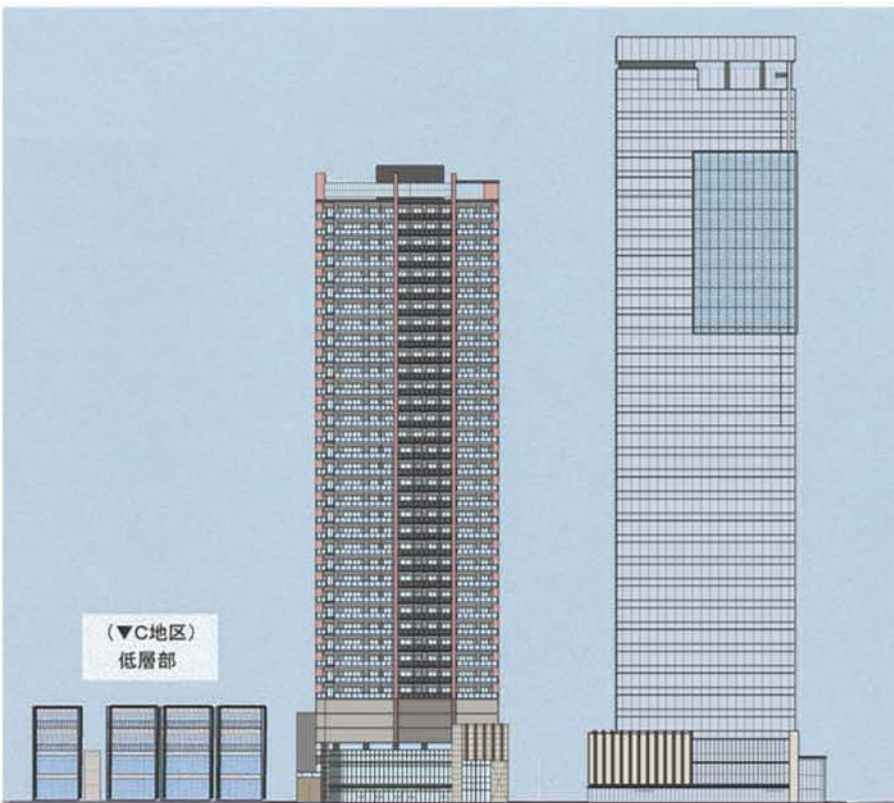
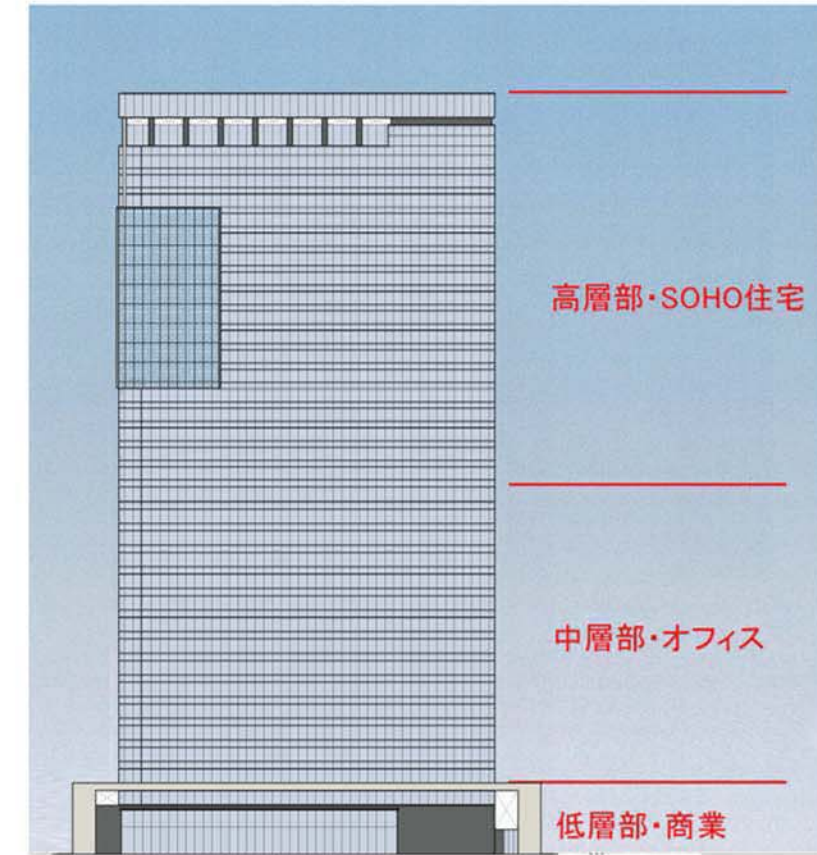
周辺の縦強調デザインビル



新宿グランドタワー



新宿フロントタワー



■ 外観パース



成子坂下から見る

■ 広域パース（変更前／変更後）



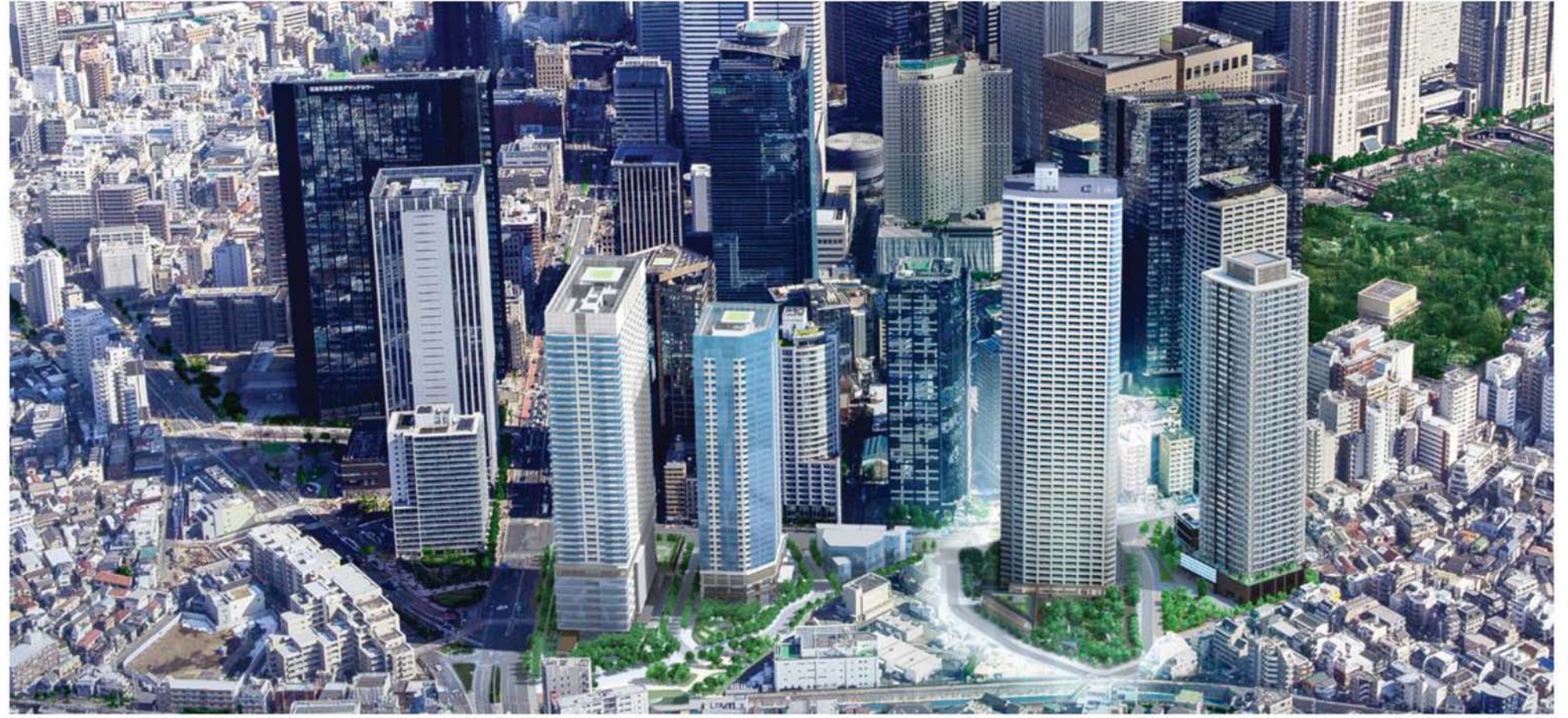
[変更前]



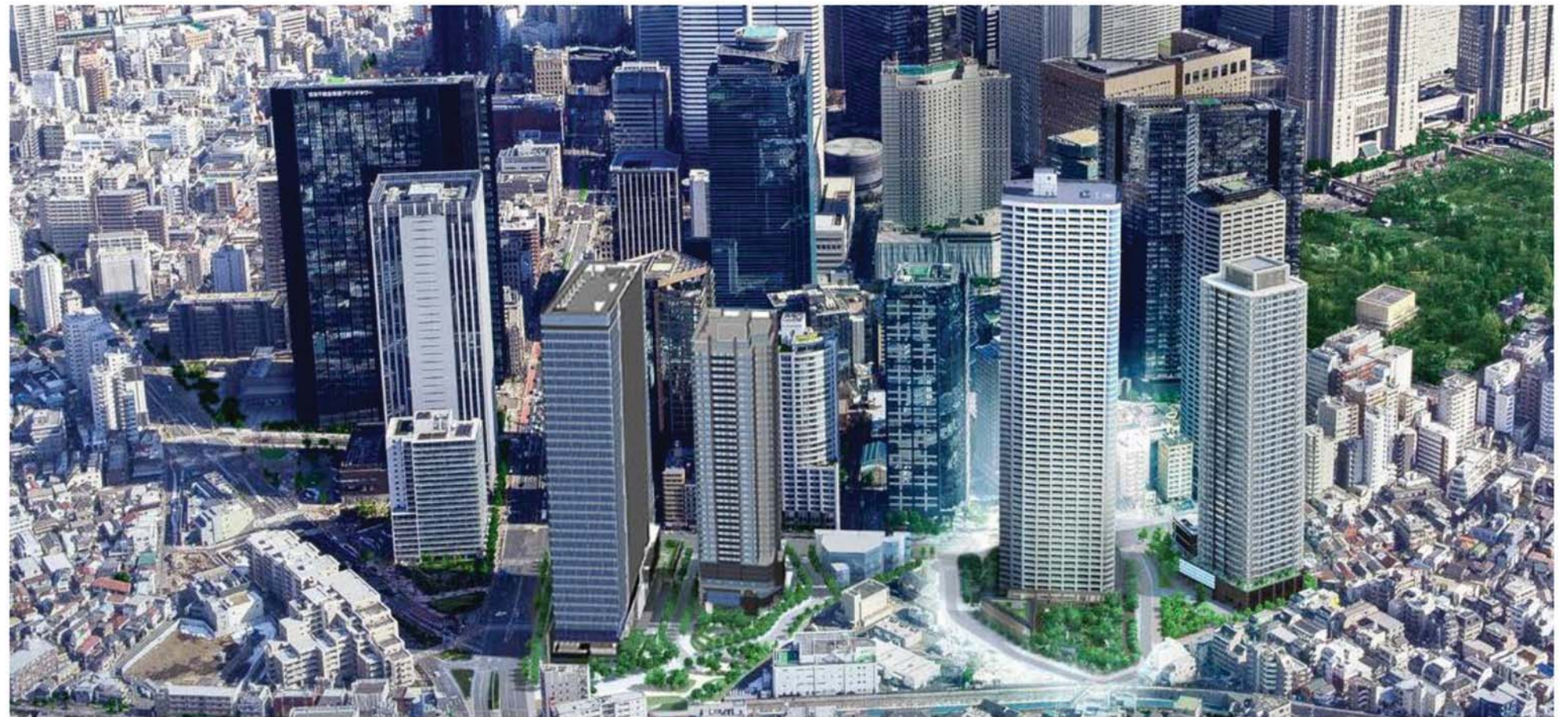
[変更後]

■ 広域パース（拡大）  
（変更前／変更後）

[変更前]



[変更後]



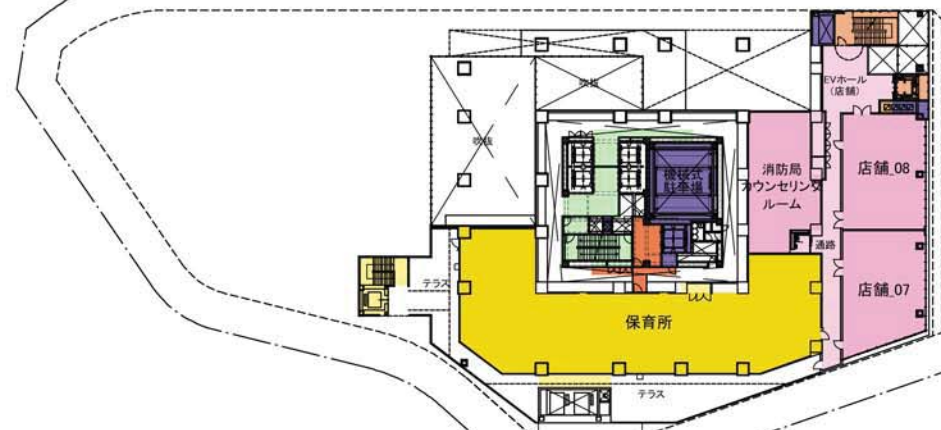
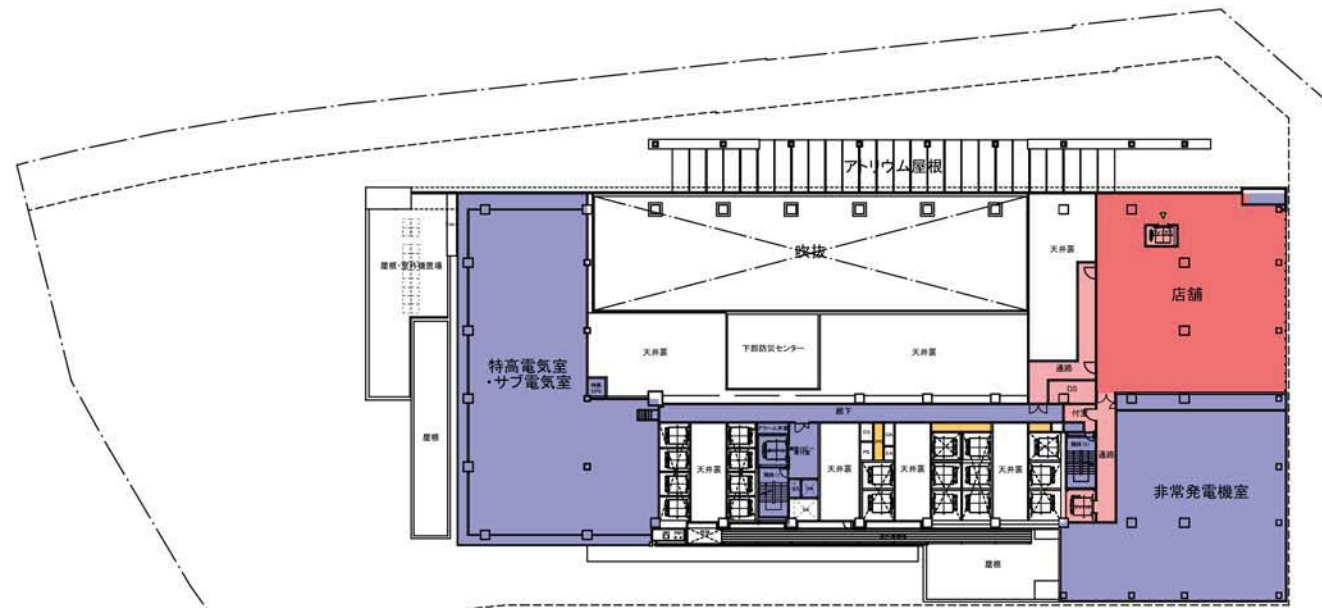
## ■ 近景パース

(十二社通り・青梅街道低層部)

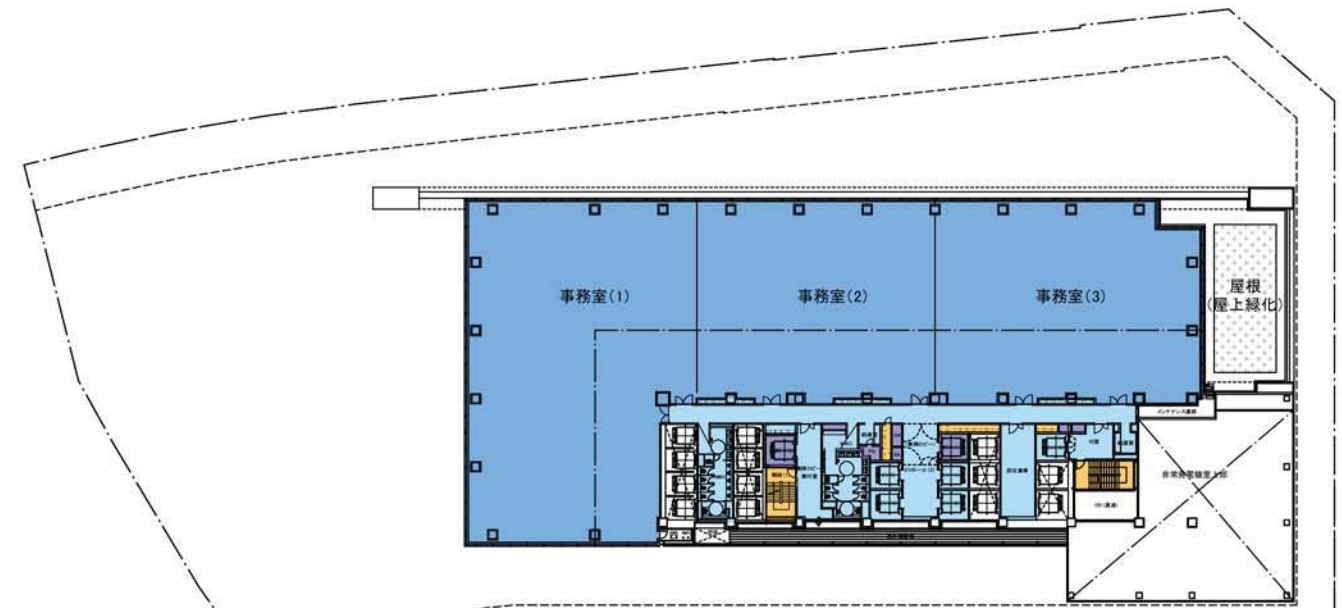








2階平面図



3階平面図



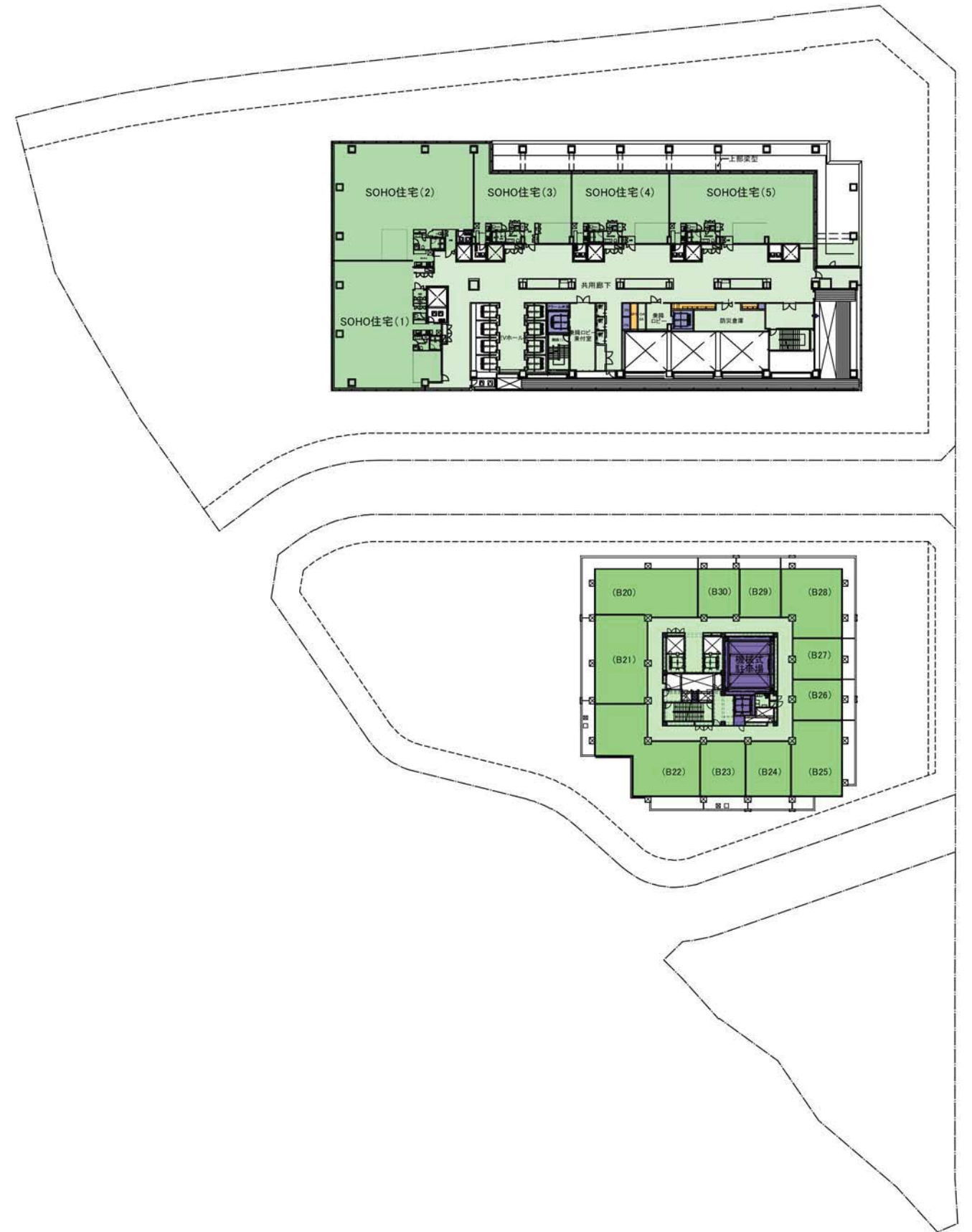
(A地区) 3~17階平面図  
 (B地区) 5~20階平面図



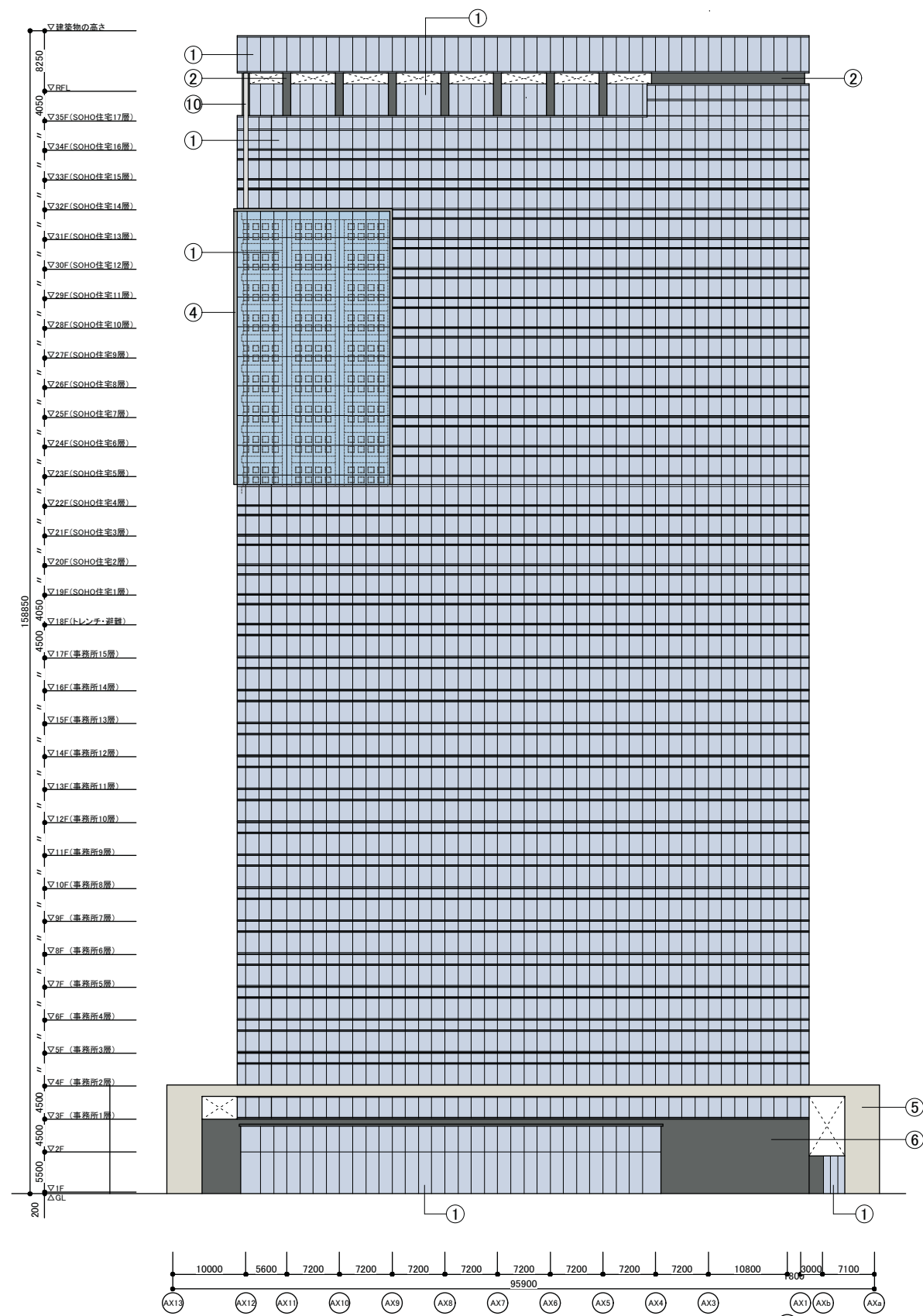
(A地区) 19~22階平面図  
 (A地区) 32~34階平面図  
 (B地区) 21~35階平面図



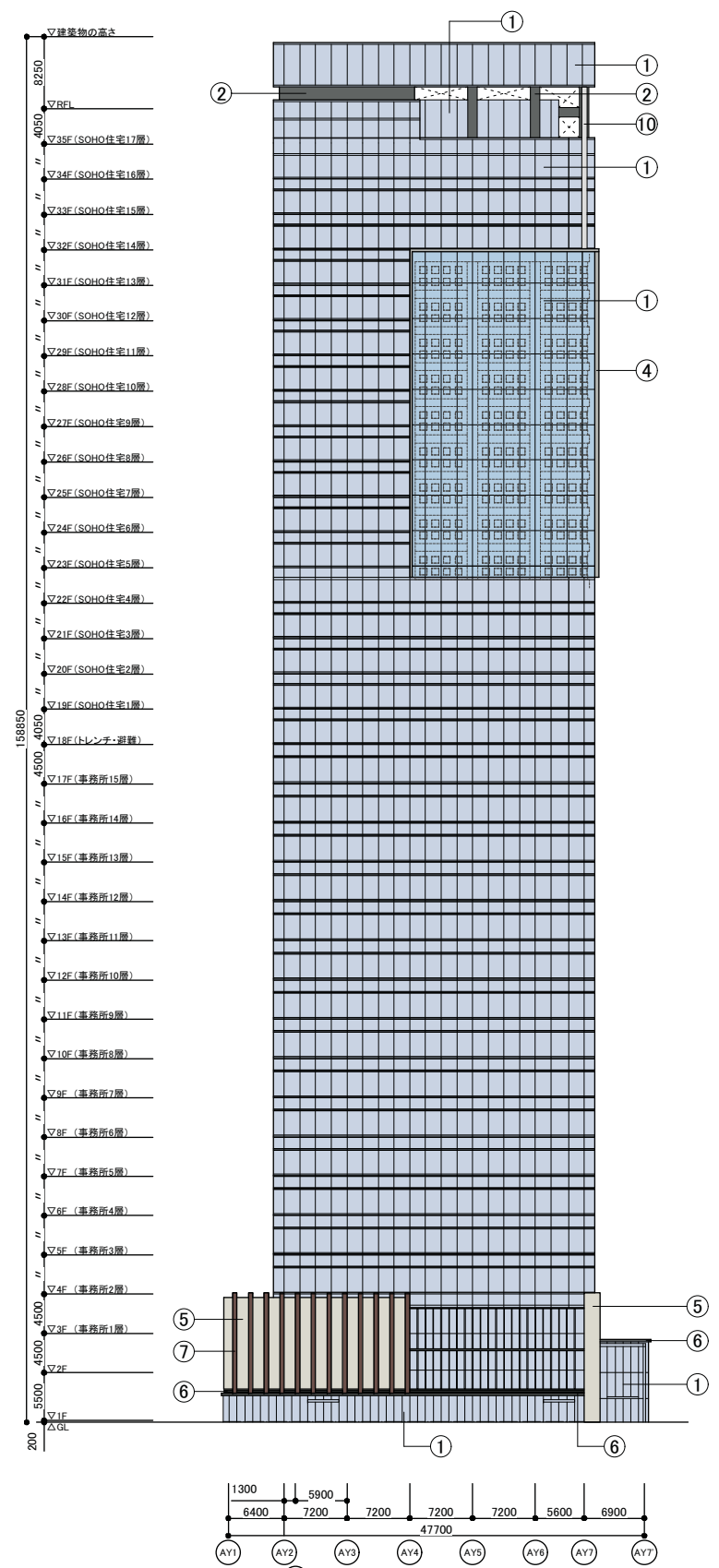
(A地区) 23~31階平面図  
(B地区) 21~35階平面図



(A地区) 35階平面図  
(B地区) 21~35階平面図



北立面図



東立面図

北立面 見付面積 12663m<sup>2</sup>

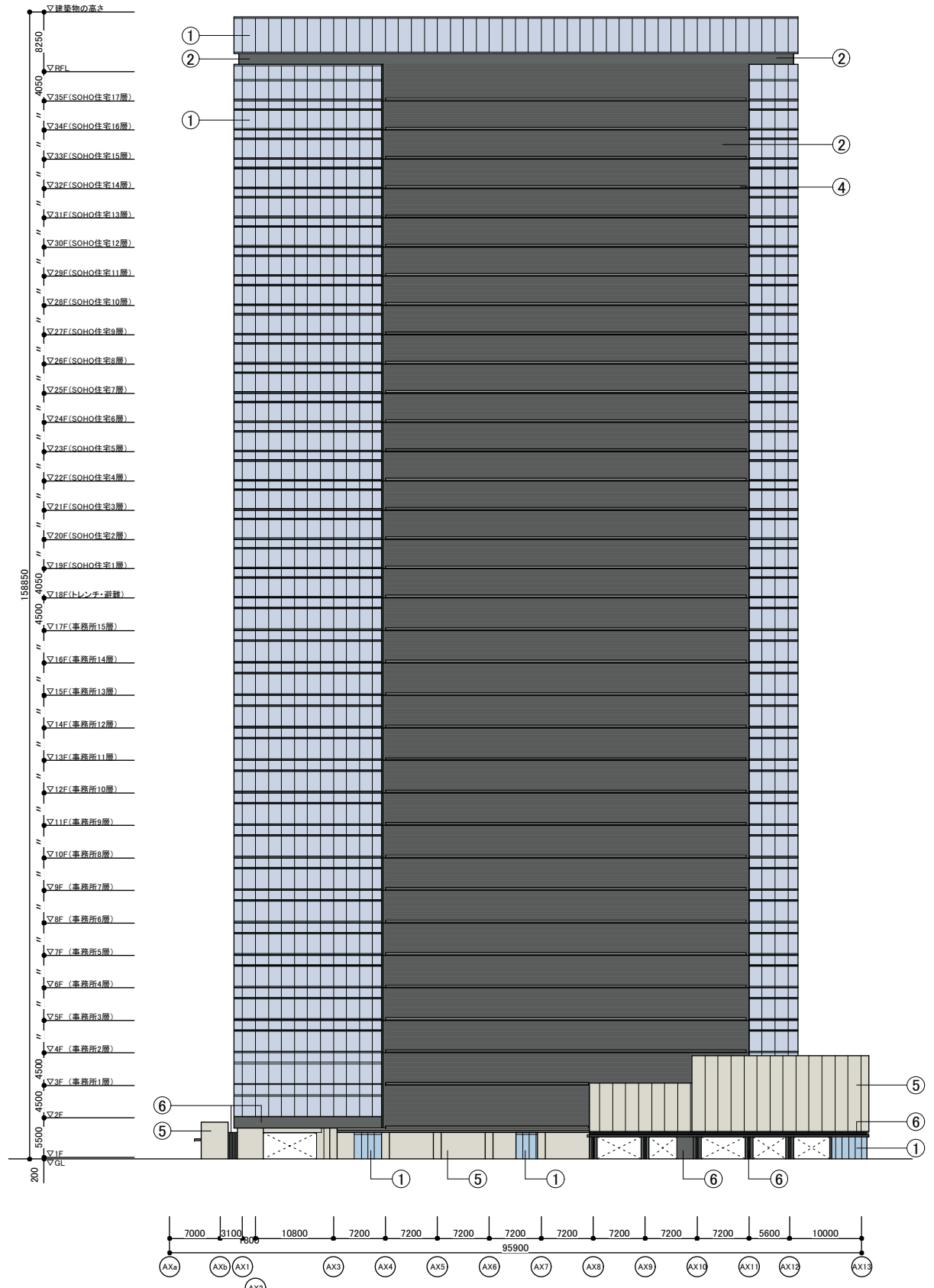
基本色

色	マンセル値	面積 / 割合
①	ガラス	11811m <sup>2</sup> / 93.27%
②	N4	78m <sup>2</sup> / 0.62%
③	N9.5	0m <sup>2</sup> / 0%
④	N6	36m <sup>2</sup> / 0.28%
⑤	5GY8.5/0.5	274m <sup>2</sup> / 2.16%
⑥	N4	329m <sup>2</sup> / 2.60%
⑦	5R4/2	0m <sup>2</sup> / 0%
⑧	2.5YR6/2	0m <sup>2</sup> / 0%
⑨	2.5Y8/1	0m <sup>2</sup> / 0%
⑩	N7	11m <sup>2</sup> / 0.09%

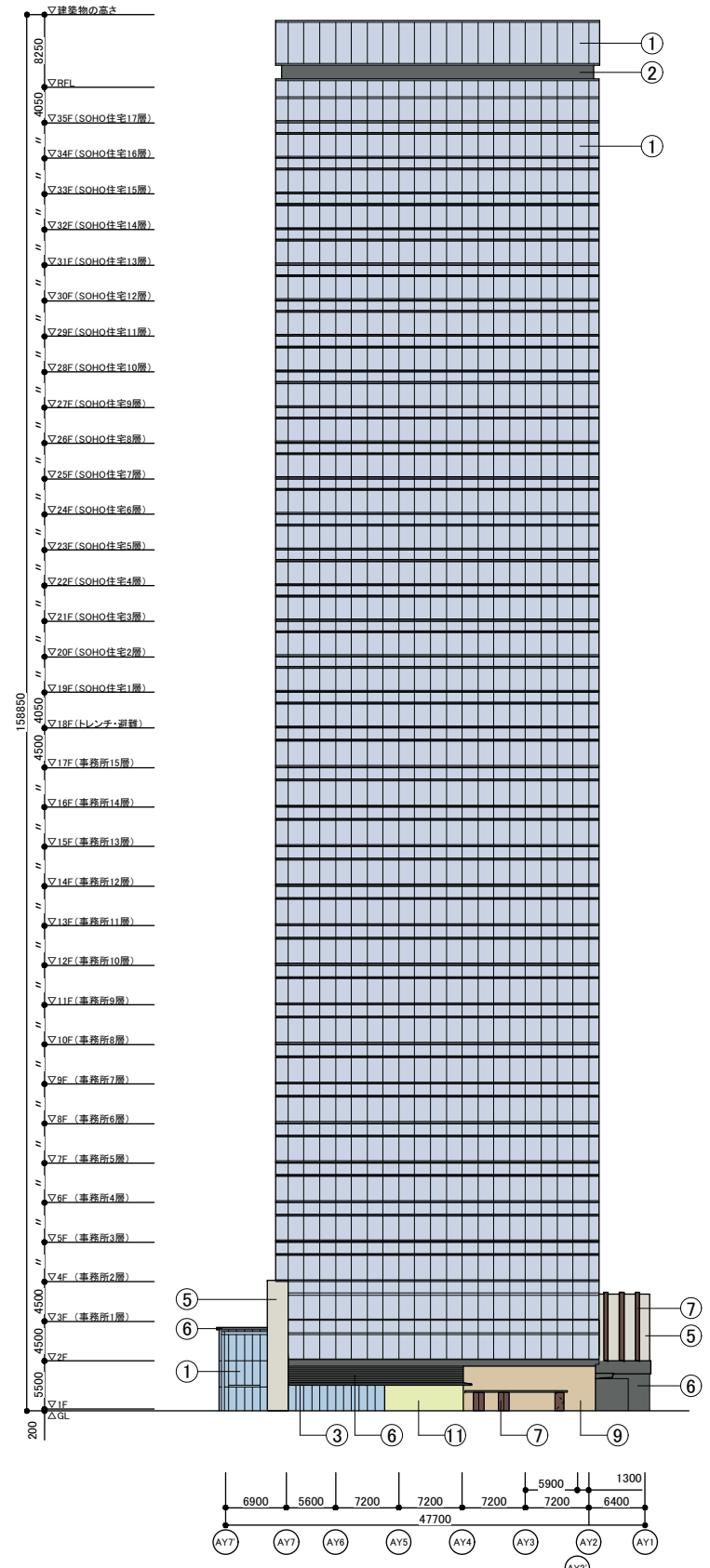
東立面 見付面積 5975m<sup>2</sup>

基本色

色	マンセル値	面積 / 割合
①	ガラス	5563m <sup>2</sup> / 93.10%
②	N4	41m <sup>2</sup> / 0.69%
③	N9.5	0m <sup>2</sup> / 0%
④	N6	36m <sup>2</sup> / 0.60%
⑤	5GY8.5/0.5	188m <sup>2</sup> / 3.15%
⑥	N4	38m <sup>2</sup> / 0.64%
⑦	5R4/2	69m <sup>2</sup> / 1.15%
⑧	2.5YR6/2	0m <sup>2</sup> / 0%
⑨	2.5Y8/1	0m <sup>2</sup> / 0%
⑩	N7	11m <sup>2</sup> / 0.18%



南立面図



西立面図

南立面 見付面積 12523㎡

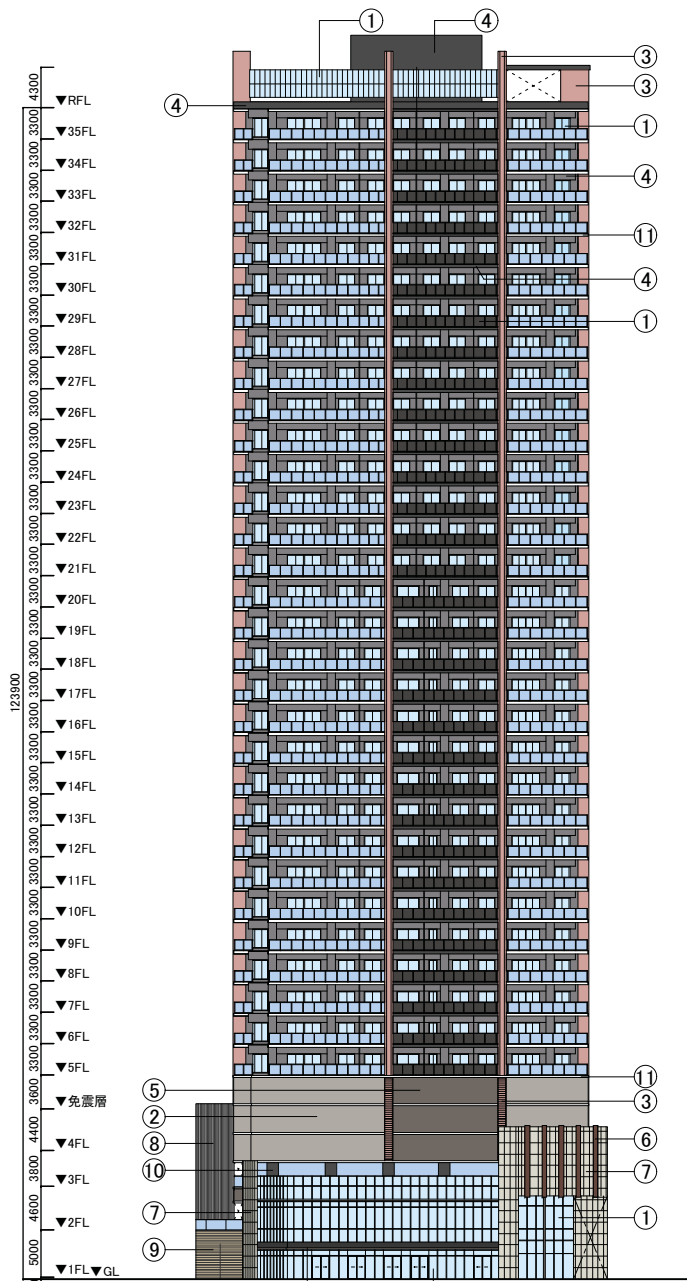
基本色

色	マンセル値	面積 / 割合
①	ガラス	4352㎡ / 34.75%
②	N4	7083㎡ / 56.56%
③	N9.5	0㎡ / 0%
④	N6	373㎡ / 2.98%
⑤	5GY8.5/0.5	512㎡ / 4.09%
⑥	N4	89㎡ / 0.71%
⑦	5R4/2	0㎡ / 0%
⑧	2.5YR6/2	0㎡ / 0%
⑨	2.5Y8/1	0㎡ / 0%
⑩	N7	105㎡ / 0.84%

西立面 見付面積 5957㎡

基本色

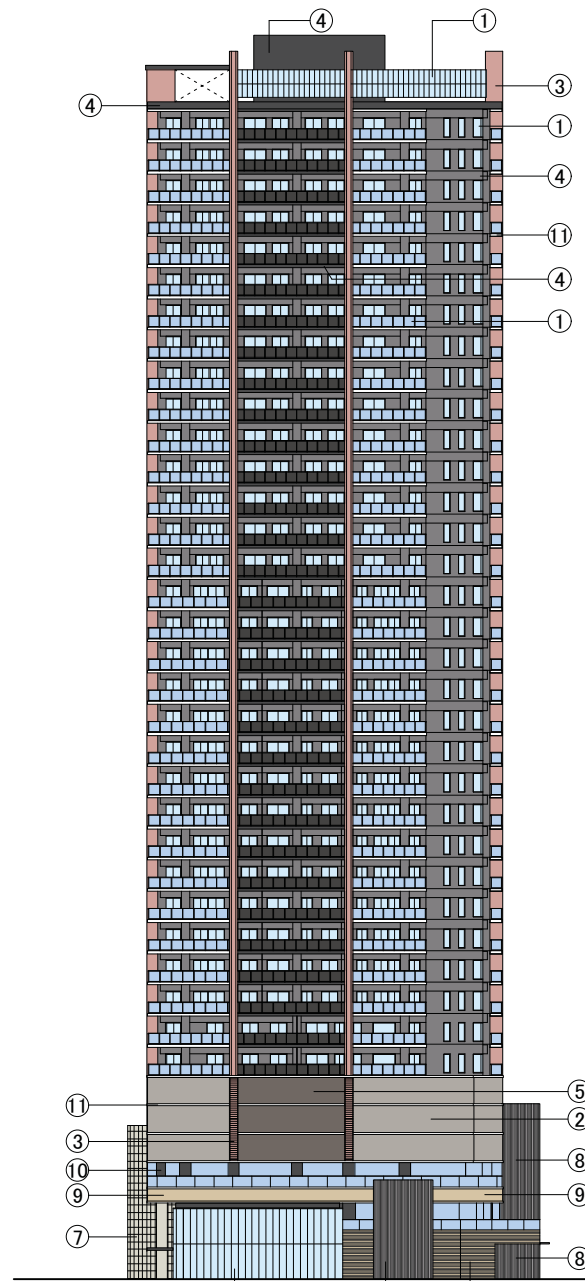
色	マンセル値	面積 / 割合
①	ガラス	5614㎡ / 94.24%
②	N4	55㎡ / 0.92%
③	N9.5	6㎡ / 0.10%
④	N6	0㎡ / 0%
⑤	5GY8.5/0.5	67㎡ / 1.12%
⑥	N4	103㎡ / 1.73%
⑦	5R4/2	19㎡ / 0.32%
⑧	2.5YR6/2	0㎡ / 0%
⑨	2.5Y8/1	66㎡ / 1.11%
⑩	N7	0㎡ / 0%
⑪	壁面緑化	25㎡ / 0.42%



東立面図

東立面 見付面積 4985㎡

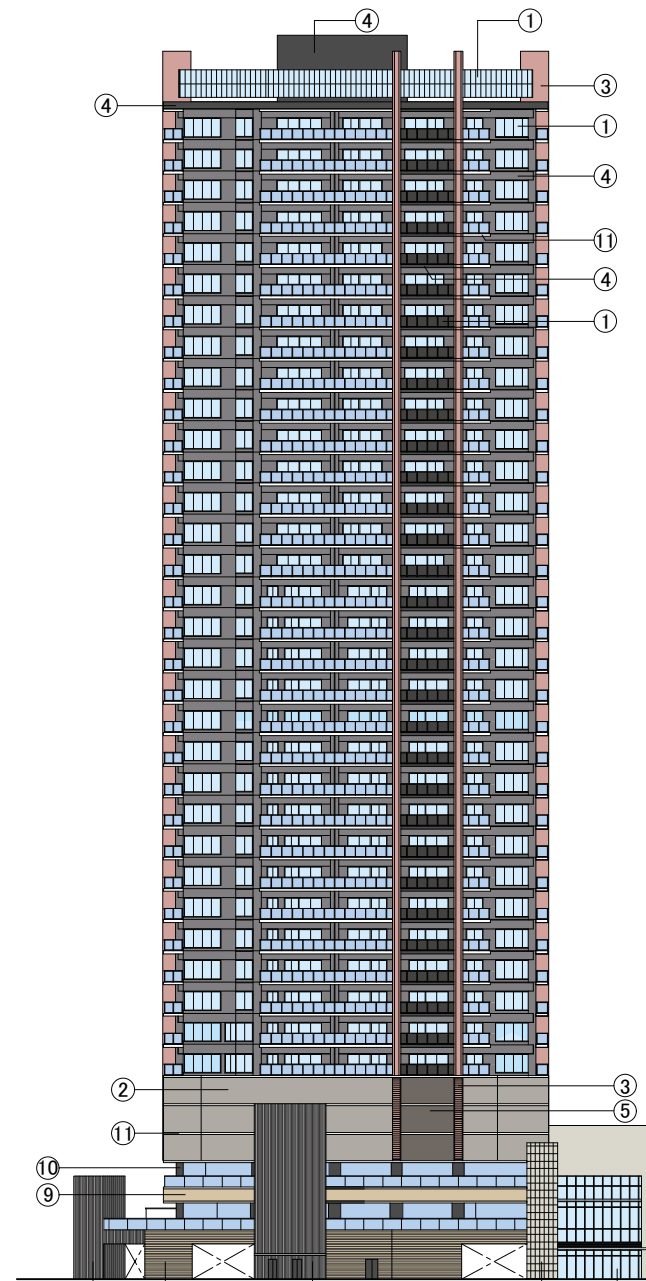
基本色	色	マンセル値	面積 / 割合
①	ガラス		2223㎡ / 44.59%
②		10YR6/0.5	177㎡ / 3.55%
③		8R7/3.5	382㎡ / 7.66%
④		N4	1399㎡ / 28.07%
⑤		10YR5/0.5	124㎡ / 2.49%
⑥		5R4/2	19㎡ / 0.38%
⑦		5GY8.5/0.5	136㎡ / 2.73%
⑧		N6.5	49㎡ / 0.98%
⑨		2.5Y8/1	26㎡ / 0.52%
⑩		5Y4/1	7㎡ / 0.14%
⑪		N9.5	235㎡ / 4.71%



西立面図

西立面 見付面積 4986㎡

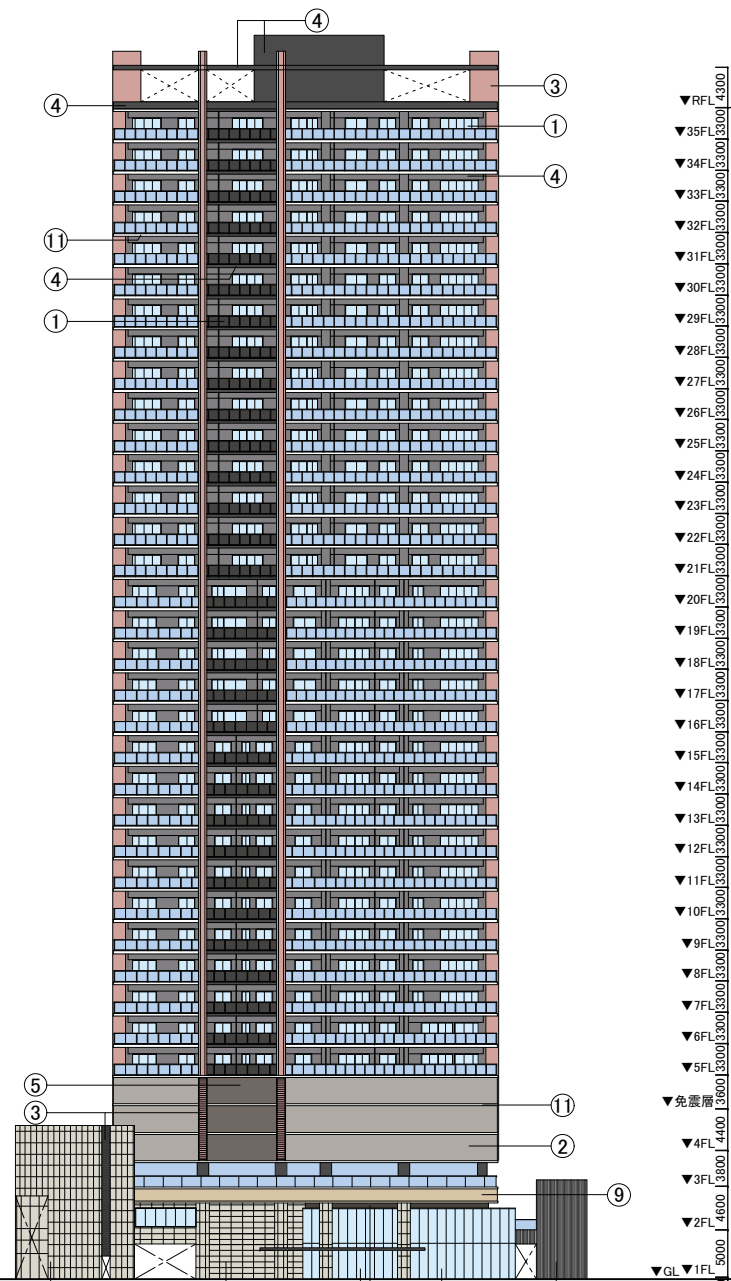
基本色	色	マンセル値	面積 / 割合
①	ガラス		1929㎡ / 38.69%
②		10YR6/0.5	206㎡ / 4.13%
③		8R7/3.5	382㎡ / 7.66%
④		N4	1669㎡ / 33.47%
⑤		10YR5/0.5	95㎡ / 1.91%
⑥		5R4/2	0㎡ / 0%
⑦		5GY8.5/0.5	55㎡ / 1.10%
⑧		N6.5	132㎡ / 2.65%
⑨		2.5Y8/1	99㎡ / 1.99%
⑩		5Y4/1	22㎡ / 0.44%
⑪		N9.5	207㎡ / 4.15%



南立面図

南立面 見付面積 5539㎡

基本色	色	マンセル値	面積 / 割合
①	ガラス		2223㎡ / 40.13%
②		10YR6/0.5	233㎡ / 4.21%
③		8R7/3.5	399㎡ / 7.20%
④		N4	1680㎡ / 30.33%
⑤		10YR5/0.5	47㎡ / 0.85%
⑥		5R4/2	0㎡ / 0%
⑦		5GY8.5/0.5	105㎡ / 1.90%
⑧		N6.5	196㎡ / 3.54%
⑨		2.5Y8/1	158㎡ / 2.85%
⑩		5Y4/1	21㎡ / 0.38%
⑪		N9.5	232㎡ / 4.19%



北立面図

北立面 見付面積 5545㎡

基本色	色	マンセル値	面積 / 割合
①	ガラス		2195㎡ / 39.59%
②		10YR6/0.5	256㎡ / 4.62%
③		8R7/3.5	406㎡ / 7.32%
④		N4	1508㎡ / 27.19%
⑤		10YR5/0.5	62㎡ / 1.12%
⑥		5R4/2	0㎡ / 0%
⑦		5GY8.5/0.5	316㎡ / 5.70%
⑧		N6.5	60㎡ / 1.08%
⑨		2.5Y8/1	50㎡ / 0.90%
⑩		5Y4/1	34㎡ / 0.61%
⑪		N9.5	344㎡ / 6.20%